平成 28 年度

# 事 業 報 告 書

自　平成 28 年　4 月　1 日
至　平成 29 年　3 月 31 日

社会福祉法人　空知の風

目次

法人事業報告・・・・・・・・・・・・３ページ

たのしいどう事業報告・・・・・・・・１７ページ

きっちんどう事業報告・・・・・・・・２８ページ

あかるいどう事業報告・・・・・・・・４１ページ

歩～夢　事業報告・・・・・・・・・・５３ページ

楽らく事業報告・・・・・・・・・・・６１ページ

そらなび事業報告・・・・・・・・・・６２ページ

平成２８年度　法人事業報告

◇はじめに

## ～平成 28 年度事業の総括～

平成２８年度は次の３点を重点目標として取組んで参りました。

**１．事業振興策の推進による経営基盤の強化と利用者工賃の向上**

**２．職員の人材育成**

**３．社会福祉法改正に伴う社会福祉法人改革への対応**

### １．事業振興策の推進による経営基盤の強化と利用者工賃の向上

○他の法人、施設との商品取引を更に推進するため、研修会活動、営業活動を通じて内需推進拡大に取り組みました。

○事業振興の強化に向けて、企業との連携による作業種の創出に取り組みました。企業から主として金属のリサイクル分解作業や、杖の組立作業の委託を請け、作業内容や収益性について導入に向けた検討を進めています。

○特殊建設車両の資格を活かし、駐車場の整備、暗渠管の埋設工事、冬期間の除雪排雪を実施し、事業の導入に向けた準備、技能を高める取組みを実施しました。

○施設の修繕（塀の修繕、外構、内装、屋根板金）を自分達で挑戦、実施して事業振興の模索を進めています。

○計画的に安定した工賃支給が実施できるように、事業振興策とあわせて、工賃分配規程の見直しや、より達成率を意識した会議に取組みました。

### ２．職員の人材育成

○新たな事業振興に向けた取り組みを進める中で、様々な作業種に対して、実践を通じた技能向上と知識の獲得により育成を進めました。

○人事異動や兼務体制の実施により、他の部署の業務内容や課題を知り状況把握を高めると共に、多くの部署で現場の業務に対応できる職員の育成を進めました。

○外部研修の参加や研修会の企画運営を通じて様々な事を学ぶ機会としました。他の施設の取組みや創意工夫を知り、他の施設職員との人脈形成とネットワーク強化を進める事で、共感、刺激、責任と知識を得る取組みを実施しました。

○渉外活動を通じて、障がい福祉の発展や利用者支援の質の向上や充実に向けた取組みに関わる事で、育成を進めました。

## ３．社会福祉法改正に伴う社会福祉法人改革への対応

○社会福祉法人改革の制度対応に向けて、学習と情報収集を進めるために、役員の外部研修参加と法人内役員研修会を開催し、制度理解を進めました。
○新制度による定款の変更、各規程の整備を進め法改正の対応を進めています。
○評議員選任解任役員会の設置や新制度に向けた体制への対応を進めました。

■役員会運営

平成 28 年度は社会福祉法改正に伴う社会福祉法人改革として、定款や役員・評議員の編成に大きな変更がありました。評議員の権限が大きくなり、要件が厳格に定められたことで、理事体制も含め大幅な入れ替えを行なっています。また、設立以来理事長の任を務めていた成澤哲雄初代理事長が年度末をもって御勇退されています。その他の法人運営に係る役員会運営についても予算執行や各議案について活発かつ慎重な審議を行ない、事業運営を滞りなく実施する事が出来ました。

また、監事監査は、四半期毎に会計監査、運営監査を実施し、実務上の改善事項について助言を頂き運営改善に繋がっております。

法人経営と会計については、社会福祉法人会計に長けた会計士事務所による外部監査も継続しています。法人改革の重点項目である財務規律の強化の面で、社会福祉充実残額の適切な算定と、法人の財産を地域社会に役立てる方策なども検討をしています。

○理事会の開催状況について
平成28年度　第1回　理事会　平成28年 5月21日　（出席理事6名･監事2名）
平成28年度　第2回　理事会　平成28年11月 5日　（出席理事6名･監事1名）
平成28年度　第3回　理事会　平成28年12月27日　（出席理事5名･監事2名）
平成28年度　第4回　理事会　平成29年 3月 4日　（出席理事6名･監事2名）
○評議員会の開催状況について
平成28年度　第1回評議員会　平成28年 5月21日（出席評議員12名･監事2名）
平成28年度　第2回評議員会　平成28年11月 5日（出席評議員13名･監事1名）
平成28年度　第3回評議員会　平成28年12月27日（出席評議員11名･監事2名）
平成28年度　第4回評議員会　平成29年 3月 4日（出席評議員10名･監事2名）
○監事監査の実施状況について
平成27年度　前4期及び前期決算監事監査　平成28年 5月16日（業務・会計監査）
平成28年度　第1期監事監査　平成28年 9月30日（業務・会計監査）
平成28年度　第2期監事監査　平成28年12月 7日（業務・会計監査）
平成28年度　第3期監事監査　平成29年 2月24日（業務・会計監査）
○評議員選任・解任委員会の開催状況について
平成28年度　第1回評議員選任・解任委員会　平成29年3月 4日（委員3名・理事2名）

○苦情解決委員会の開催状況について

平成27年度　苦情解決委員会　　平成28年4月25日（委員10名）

■役員体制の状況について（平成29年4月1日現在）

法律改正に伴う定款変更等により平成29年4月1日からの役員・評議員の体制が下記の通り変更されました。

| 理事・監事 | 備　考 |
|---|---|
| 理事長　成澤　哲雄 | 退任 |
| 理事　橘　文也 | |
| 理事　鈴木　達美 | 退任 |
| 理事　奥村　弘美 | 退任 |
| 常務理事 橘　正樹 | |
| 理事　松田　愁司 | |
| 監事　堀　利幸 | |
| 監事　小嶋　孝之 | |

⇨

| 理事・監事 | 備　考 |
|---|---|
| 理事長　橘　文也 | |
| 常務理事 橘　正樹 | |
| 理事　松田　愁司 | |
| 理事　横田　雅之 | 新任 |
| 理事　神田　薫朋 | 新任 |
| 理事　西園　真樹 | 新任 |
| 監事　堀　利幸 | |
| 監事　小嶋　孝之 | |

| 評議員（～29.3.31） | 備　考 |
|---|---|
| 成澤　哲雄 | 退任 |
| 橘　文也 | 退任 |
| 鈴木　達美 | |
| 奥村　弘美 | |
| 橘　正樹 | 退任 |
| 宮本　和昭 | 退任 |
| 斉藤　和幸 | 退任 |
| 米川　義彦 | 退任 |
| 小松　大記 | |
| 横田　雅之 | 退任 |
| 綱渕　秀幸 | |
| 窪田　秀樹 | |
| 藤田　雅子 | |
| 佐藤　定 | 退任 |

⇨

| 評議員（29.4.1～） | 備　考 |
|---|---|
| 鈴木　達美 | |
| 奥村　弘美 | |
| 小松　大記 | |
| 綱渕　秀幸 | |
| 窪田　秀樹 | |
| 藤田　雅子 | |
| 眞田　雄三 | 新任 |

役員会の様子

■監査等の状況について

○外部監査の実施状況について（税理士法人　さくら総合会計）

| | | |
|---|---|---|
| 平成27年度 | 前期3月分 | 平成28年　4月19日 |
| 平成27年度 | 前期決算分 | 平成28年　5月10日 |
| 平成28年度 | 4月5月分 | 平成28年　6月28日 |
| 平成28年度 | 6月分 | 平成28年　7月27日 |
| 平成28年度 | 7月分 | 平成28年　8月29日 |
| 平成28年度 | 8月分 | 平成28年　9月27日 |
| 平成28年度 | 9月分 | 平成28年 10月27日 |
| 平成28年度 | 10月分 | 平成28年 11月28日 |
| 平成28年度 | 11月分 | 平成28年 12月20日 |
| 平成28年度 | 12月分 | 平成29年　1月27日 |
| 平成28年度 | 1月分 | 平成29年　2月27日 |
| 平成28年度 | 2月分 | 平成29年　3月24日 |
| 平成28年度 | 3月分 | 平成29年　4月18日 |

○空知総合振興局による障害福祉サービス事業実地指導について

①日時：平成 28 年 5 月 27 日　　午前 9 時 30 分～午後 4 時 00 分

対象：歩～夢（共同生活援助事業）

結果：文書指導事項、口頭指導事項なし「概ね適正」

②日時：平成 29 年 3 月 2 日　　午前 9 時 30 分～午後 4 時 00 分

対象：たのしいどう（生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型）

きっちんどう（生活介護・就労継続支援 B 型）

あかるいどう（生活介護・就労継続支援 B 型）

結果：文書指導事項、口頭指導事項なし「概ね適正」

■施設整備等について

主な施設・事業所の整備としましては、前年度雪害によって「たのしいどう」の屋根が破損したことを受け、落雪による安全性と雪の重みに対する耐久性を検討して屋根の形状を再構築し、修繕を行いました。これにより、今期の冬は雪庇やつららといった危険が軽減され、雪下ろし作業もより安全に行なえるようになりました。

また、グループホームの箇所数が増えたことで、従来までの除雪用機械だけでは不足することを想定して、小型の除雪用機械「トヨタジョブサン」を中古で 2 台取得いたしました。これにより、複数名で機械作業を進めることができ、近隣の住民の方へも除雪の協力ができるようになっています。

◇工事

□工事名　　たのしいどう雪害による屋根修繕工事

□業者名　　広匠

屋根改修第１期工事　3,430,000 円

屋根改修第２期工事　3,000,000 円

雪害消防設備工事　　697,000 円

雪害内装クロス工事　　241,000 円

工事合計　　7,368,000 円　　雪害による保険金受入　8,596,224 円

業者による除雪

雪害による水漏れ

修繕工事の様子

◇車両整備

①トヨタジョブサン　2SDKL6 型

□業者名　　成田産業株式会社（札幌市）

□購入費用　　1,563,840 円（税込）

②トヨタジョブサン　SDK6 型

□業者名　　成田産業株式会社（札幌市）

□購入費用　　1,137,840 円（税込）

トヨタ　ジョブサン

■事故報告の状況について

□利用者さんに係る事故

①支援時間中の軽傷　　３件（通院・のち完治）

②誤嚥　　１件（軽微な喉つまり）

□車両による事故件数

①人身事故　　０件

②単独接触事故　　２件（雪壁への接触、施設・建物などへの接触等）

■行事の実施状況について（各施設・事業所合同）

| 日　時 | 行　事　名 |
|---|---|
| 平成 28 年　4 月 1 日 | 事業開始式 |
| 平成 28 年　6 月 26 日 | 第 5 回地域交流祭※法人行事 |
| 平成 28 年 11 月 25 日～26 日 | 利用者温泉旅行 1 班(北湯沢方面) |
| 平成 28 年 12 月 2 日～ 3 日 | 利用者温泉旅行 2 班(登別方面) |
| 平成 28 年 12 月 24 日 | 利用者忘年会 |
| 平成 28 年 12 月 27 日 | 法人忘年会※法人行事 |
| 平成 29 年　1 月 13 日 | 新成人のお祝い会 |
| 平成 29 年　1 月 28 日 | 第 5 回レクリエーション大会 |

事業開始式

地域交流祭

温泉旅行（北湯沢）

温泉旅行（登別）

利用者忘年会

成人のお祝い会（岩見沢警察署見学）

レクリエーション大会

■渉外活動（平成 28 年度）

| 渉外活動 | 職　名 | 氏　名 |
|---|---|---|
| 空知知的しょうがい福祉協会 | 理　事 | 橘 |
| | 代表者 | 橘・松田・横田・竹治 |
| | 監事 | 松田 |
| | 幹事 | 廣岡・林 |
| ・岩見沢市障がい者福祉施策懇話会<br>・岩見沢市障がい者サポート協議会 | 委　員 | 橘 |
| 岩見沢市障がい者サポート協議会<br>相談支援部会 | 部会長 | 山下 |
| NPO 法人ふらっと | 理　事 | 橘 |
| | 会員・委員 | 橘・横田・堀・中山 |
| 日本知的障害者福祉協会<br>生産活動・就労支援部会全国大会 | 実行委員 | 橘・横田 |
| 全国社会就労センター協議会<br>事業振興委員会 | 委　員 | 橘 |

■苦情解決委員会および虐待防止委員会について

２８年度の苦情件数４件　要望件数４件　その他日常に生じる相談多数

出席者：各事業所の苦情窓口担当者（廣岡・鈴木・山本・中山・山下）

各事業所の苦情解決責任者（橘・横田・松田）

第 3 者委員（小松委員・小嶋委員・藤田委員）

会議概要：

事業所ごとに苦情や要望の受付件数や、具体的な相談ケースを報告しています。スタッフの連絡調整ミスや支援体制の不十分さからの苦情や、個別の具体的支援を要望する内容などがありました。当事者への聞き取りや、対応策を話し合う場が設定され、一定の結論を当事者へお伝えすることができています。第３者委員からは、利用者やご家族との日常的なコミュニケーションがトラブルや苦情を未然に防いだり早期解決に導くことや、苦情や要望などが声に出てくることは、サービスや体制を見直し、改善するチャンスであることなど意見を頂きました。

権利擁護や虐待防止の取り組みとして、北海道知的障がい福祉協会の署名活動や、空知知的しょうがい福祉協会の権利擁護活動への参加、内部や外部の研修への参加を報告しています。

■役員・職員　外部研修参加について

No.1

| 日　時 | 研修名 | 主　催 | 場　所 | 参加人数 |
|---|---|---|---|---|
| 4/15 | 浅野史郎氏講演会 | 札幌この実会 | 札幌市 | 3名 |
| 4/28 | 空知知的しょうがい福祉協会・臨時総会及び定期総会 | 空知知的しょうがい福祉協会 | 美唄市 | 3名 |
| 5/13 | ふらっと第1回会員総会・交流会（理事会） | 特定非営利活動法人ふらっと | 岩見沢市 | 5名 |
| 5/17～18 | 北海道全道施設長セミナー | 北海道知的障がい福祉協会 | 札幌市 | 3名 |
| 5/31 | 食・ものネットワーク企画会議 | 社会福祉法人つかさ会 | 愛知県 | 1名 |
| 6/1 | メンタルヘルス講習会 | 北海道民間社会福祉事業職員共済会 | 札幌市 | 2名 |
| 6/4～5 | 第13回日本グループホーム学会沖縄大会 | 障がいのある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 | 沖縄県 | 2名 |
| 6/16 | 全国知的障がい福祉関係職員研究大会出展に関する説明会 | 北海道知的障がい福祉協会 | 札幌市 | 1名 |
| 6/23～24 | 平成28年度全国知的障がい者関係施設長等会議 | 日本知的障害福祉協会 | 横浜市 | 3名 |
| 6/30～7/1 | 北海道社会就労センター協議会・総会・施設長・職員研修会 | 北海道社会就労センター協議会 | 札幌市 | 4名 |
| 7/3 | 第43回保健医療部会宿泊研修会 | 空知知的しょうがい福祉協会 | 新十津川 | 3名 |
| 7/7 | 社会福祉法人経営者セミナー | 社会福祉法人北海道社会福祉協議会 | 札幌市 | 1名 |
| 7／7～8 | 全国社会就労センター総合研究大会<br>（三重大会） | 全国社会福祉協議会 | 三重県 | 2名 |
| 7/12 | 空知職員研修会 | 空知知的しょうがい福祉協会 | 美唄市 | 1名 |
| 7/19～21 | 食・ものネットワーク実践研修 | 江差福祉会他 | 乙部町他 | 7名 |
| 7/26 | 平成28年度権利擁護セミナー | 北海道知的障がい福祉協会 | 札幌市 | 3名 |
| 7/25～27 | 障害者虐待防止・権利擁護指導者養成講座 | 北海道知的障がい福祉協会 | 札幌市 | 1名 |
| 7/25 | 安全衛生推進者・衛生推進者養成講習 | 札幌労働基準協会 | 札幌市 | 1名 |
| 8/2 | 空知知的しょうがい福祉協会・臨時総会 | 空知知的しょうがい福祉協会 | 美唄市 | 4名 |
| 8/26 | 秋・冬メニュー提案会キャラバン | 金丸冨貴堂㈱ | 札幌市 | 1名 |
| 8/30 | 相談支援従事者フォローアップ研修 | 地域生活支援センターあ～ち | 岩見沢市 | 1名 |
| 8/30 | 空知知的しょうがい福祉協会　意見交換会 | 空知知的しょうがい福祉協会 | 岩見沢市 | 5名 |
| 9／7～9 | 第54回全国知的障害福祉関係職員研究大会 | 日本知的障害者福祉協会 | 札幌市 | 13名 |
| 9/27 | 株式会社田中食品興業所講習会 | 株式会社熊谷商店 | 旭川市 | 1名 |
| 9/28～29 | 利用者の工賃向上と就労支援を考える研修会 | 北海道知的障がい福祉協会 | 岩見沢市 | 6名 |
| 10/4 | 看板商品、人気商品を作り出す研修会 | 北海道知的障がい福祉協会 | 札幌市 | 3名 |
| 10/11 | 衛生推進者養成講習 | 北海道労働基準協会 | 札幌市 | 2名 |
| 10/17 | 業務説明会（退職年金制度の変更について） | 北海道民間社会福祉事業職員共済会 | 札幌市 | 1名 |
| 10/21 | ふらっと研修会 | NPO法人ふらっと | 岩見沢市 | 6名 |
| 11/16 | 平成28年度地域支援スタッフ研修会 | 空知知的しょうがい福祉協会 | 岩見沢市 | 2名 |

| 日　時 | 研修名 | 主　催 | 場　所 | 参加人数 |
|---|---|---|---|---|
| 11/18～19 | 第5回全国生産活動・就労支援部会職員研修会 | 日本知的障害福祉協会 | 福岡県 | 6名 |
| 11/21 | 社会福祉法改正緊急経営セミナー | 北海道社会福祉協議会 | 札幌市 | 1名 |
| 11/22 | 空知管内知的障害関係施設・学校・行政機関等連絡協議会 | 空知知的しょうがい福祉協会 | 雨竜町 | 3名 |
| 11/29 | 災害対策研修会 | 空知知的しょうがい福祉協会 | 深川市 | 3名 |
| 12/2～3 | 空知知的福祉協会新任職員研修会 | 空知知的しょうがい福祉協会 | 新十津川町 | 2名 |
| 12/5 | 北海道知的障がい福祉協会就労支援部会専門研修会<br>就労系事業の『虐待リスク』 | 北海道知的障がい福祉協会 | 札幌市 | 3名 |
| 12/13 | 社会福祉法改正実務セミナー | よつば社会保険労務士事務所 | 札幌市 | 2名 |
| 12/20～22 | 北海道サービス管理責任者研修 | 特定非営利活動法人きなはれ | 札幌市 | 1名 |
| 12/26 | 社会福祉法人制度改革に伴う事務説明会 | | 札幌市 | 1名 |
| 1/20 | 就労支援部会部会協議会 | 北海道知的障がい福祉協会 | 札幌市 | 3名 |
| 1/26～27 | 小型車両系建築機械運転特別教育 | コベルコ教習所 | 札幌市 | 1名 |
| 1/30 | 社会福祉法人経営セミナー | 北海道社会福祉法人経営者協議会 | 東京都 | 1名 |
| 2/10 | ちえのわ(事例検討) | 地域生活支援センターあ～ち | 岩見沢市 | 1名 |
| 2/20～21 | 全道施設長研修会 | 北海道知的障がい福祉協会 | 札幌市 | 3名 |
| 3/1 | 精神疾患で問題行動をおこす事例への対応<br>について考える学習会 | 空知総合振興局保健環境部 | 岩見沢市 | 1名 |
| 3/9～10 | 社会就労センター協議会総会・施設長職員研修会 | 北海道社会就労センター協議会 | 札幌市 | 2名 |
| 3/9～10 | 空知知的しょうがい福祉協会宿泊幹事会 | 空知知的しょうがい福祉協会 | 芦別市 | 1名 |
| 3/11 | 空知知的しょうがい福祉協会権利擁護委員会<br>第三者委員意見交換会 | 空知知的しょうがい福祉協会 | 砂川市 | 4名 |
| 3/15 | 特定非営利活動法人ふらっと第2回総会 | 特定非営利活動法人ふらっと | 岩見沢市 | 3名 |
| 3/22 | 水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の<br>管理者向け説明会 | 国土交通省北海道開発局 | 岩見沢市 | 1名 |

※研修参加回数　　50 回

※役員・職員参加人数　　134 名（延べ人数）

食を通じて新しいビジネスネットワークを考える実践研修会

第５４回全国知的障害関係職員研究大会

全国生産活動・就労支援部会職員研修会（福岡見本市）

■内部研修について

| 日　時 | 研修内容 | 講師等 |
|---|---|---|
| 平成 28 年 4 月 23 日 | 知的障害について<br>法人内部の業務について | 山下支援部長<br>橘常務理事 |
| 平成 28 年 5 月 28 日 | 障がい者福祉の歴史と理念<br>障害者差別解消法について | 権利擁護担当者 |
| 平成 28 年 6 月 9 日 | 世話人向け：日本 GH 学会<br>全国大会報告会 | 松田施設長、中山 |
| 平成 28 年 7 月 6 日 | 世話人向け:障害者差別解消<br>法について | 松田施設長 |
| 平成 28 年 8 月 19 日 | 個別支援計画について | 竹治課長 |
| 平成 28 年 8 月 20 日 | 緊急：相模原市の殺傷事件<br>防犯の備え、障害者福祉の思<br>想、社会への影響 | 橘常務理事 |
| 平成 28 年 8 月 20 日 | 食とモノを通じて新しいビジネスネットワークを考える実践研修会：実践報告 | 橘常務理事、横田施設長 |
| 平成 28 年 9 月 23 日 | パート向け研修:防犯意識の<br>向上について | 山下支援部長 |
| 平成 28 年 11 月 5 日 | 法人役員研修<br>社会福祉法改正について | 顧問会計士 |
| 平成 28 年 12 月 22 日 | パート向け研修<br>知的障がいについて | 山下部長 |
| 平成 28 年 12 月 23 日 | 北海道知的障がい福祉協会<br>権利擁護研修の伝達研修 | 同研修参加職員 |
| 平成 29 年 2 月 10 日 | パート向け研修：権利擁護 | 山下支援部長 |
| 平成 29 年 2 月 25 日 | 平成 29 年度事業計画につい<br>て | 橘常務理事 |

役員研修会の様子

■防犯・安全対策について

神奈川県相模原市で平成 28 年 7 月 26 日未明に発生した障がい者施設を狙った殺傷事件は犯人の異常な障がい者観やゆがんだ思想によって引き起こされ、社会に大きな衝撃をもたらしました。空知の風の「当法人・事業所を利用する方たちが、地域社会の中で大切にされ、一人ひとりが自己実現を目指し豊かに暮らしていけるように支援する」という法人理念とは正反対の非道な行いに対して改めて強い憤りを感じます。同時に、知的障がいのある方たちを支援する我々一人ひとりが、生産活動や文化芸術活動、余暇時間の地域での活動などあらゆる場面で社会へ啓発を行い、障がいのある人もない人も社会の中で当たり前に生活していけるように意識を高めていくことの必要性を感じました。

また、事件を受け、不審者等から当法人を利用する方々を犯罪被害から守るために、施設備品を点検し、必要な用具設備を進めました。

①防犯対策点検マニュアルの制定
②不審者侵入時対応マニュアルの制定（不審者が施設内部へ立ち入った時の具体的行動）
③各事業所への「さすまた」の備え置き
（利用者や外部者からは見えず、かつ取り出しやすい保管場所）
④防犯用スプレーの備え置き
（利用者や外部者からは見えず、かつ取り出しやすい保管場所）
⑤ＧＨ1 階ガラス窓への防犯ガラスフィルム貼り付け（窓を破っての侵入を防ぐ）
⑥警備会社への委託の強化（新たに「きっちんどう」も警備対象）

さすまた

防犯用スプレー

■災害復旧支援

南富良野大乗会台風被害復旧支援活動

■利用者現況調べ（平成 29 年 3 月 31 日現在）

① 年齢構成（単位：人）

| | ～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～69歳 | 70歳～ | 合計人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男性 | 5 | 45 | 23 | 10 | 5 | 2 | 0 | 90 |
| 女性 | 0 | 27 | 12 | 12 | 3 | 0 | 0 | 54 |
| 総数 | 5 | 72 | 35 | 22 | 8 | 2 | 0 | 144 |

平均年齢：男性　30.75 歳、女性　31.00 歳、全体　30.84 歳

②障害支援区分

| | なし | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 平均区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男性 | 13 | 6 | 22 | 30 | 15 | 5 | 1 | 2.51 |
| 女性 | 3 | 3 | 5 | 17 | 16 | 4 | 5 | 3.36 |
| 総数 | 16 | 9 | 27 | 47 | 31 | 9 | 6 | 2.82 |

■工賃の支払い状況（単位：円）

①工賃支給比率

| 事業名 | 資金収入額(円) | 工賃総額(円) | 支給人数(人) | 支払比率 |
|---|---|---|---|---|
| たのしいどう | 30,472,410 | 11,363,700 | 49人 | 37.3% |
| きっちんどう | 21,829,901 | 8,395,400 | 25人 | 38.5% |
| あかるいどう | 7,140,366 | 4,980,900 | 21人 | 69.8% |
| 全事業合計 | 59,442,677 | 24,740,000 | 95人 | 41.6% |

②利用者工賃額

| 事業名 | 工賃総額(円) | 支給人数 | 平均工賃額 | うちB型事業人数 | うちB型事業平均 |
|---|---|---|---|---|---|
| たのしいどう | 11,363,700 | 49人 | 19,677 | 25人 | 22,353 |
| きっちんどう | 8,395,400 | 25人 | 29,565 | 18人 | 31,727 |
| あかるいどう | 4,980,900 | 21人 | 22,430 | 10人 | 29,712 |
| 全事業合計 | 24,740,000 | 95人 | 23,891 | 53人 | 27,931 |

平成２８年度　たのしいどう　事業報告

１．２８年度事業の総括

空知総合振興局食堂「そらかぜ食堂」の運営２年目は前年度を上回る来店客数、売上げを達成することが出来ました。また、食品製造以外の作業種において、利用者さんの頑張りを確実に収益に結び付けるために、企業と連携しての資源分別・リサイクル作業等に新たに取組みました。多様な作業種に参加される利用者さんには変化の多い年になったと思いますが、今まで通りの作業を希望する、新しい事にチャレンジしたい等々様々な声が寄せられました。担当するスタッフもそれに対応し、必要な時・場所に応じたヘルプ体制を特に意識して柔軟な動きが出来る様に取り組んでいます。

生産活動以外の取組みでは、毎年秋の発表に向けて練習をしていたダンスの取組みを特化し、希望者を募りチーム化しました。これまでの発表をメインに据えた期間限定の活動だけではなく、定期的に体を動かす時間を通して日々の楽しみの一つとなれば何よりと考えています。生活介護事業をご利用される方がメインの週２回のレクレーション活動も継続し、ハンドベル演奏等の創作活動もスタッフと二人三脚で練習し、上達の喜びを共有しています。

２．実施事業

■　就労移行支援事業　　定員　６名　　現員　７名
■　就労継続支援事業Ｂ型　　定員２２名　　現員２７名
■　生活介護事業　　定員１２名　　現員１５名
■　短期入所事業　　定員　２名／日

３．平成２８年度の利用状況

■たのしいどう全体（定員４０名）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 利用率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 49 | 49 | 48 | 48 | 51 | 50 | 48 | 49 | 48 | 48 | 48 | 49 | | |
| 開所日数 | 25 | 23 | 26 | 25 | 24 | 24 | 26 | 24 | 23 | 23 | 23 | 26 | 292 | 96.6% |
| 延利用回数 | 967 | 932 | 972 | 965 | 972 | 928 | 939 | 918 | 955 | 903 | 859 | 977 | 11,287 | |

平均実利用数３８．７名（小数点第２位以下切り上げ）

３名の新利用者をお迎えし、年度途中で１名が一般就労への移行により退所しました。積雪が大変少なく、交通機関等の乱れも少なく、冬場の通所もいくぶん安定しました。

■就労移行支援事業（定員６名）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 利用率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 7 | 7 | 6 | 6 | 9 | 8 | 6 | 7 | 6 | 6 | 6 | 7 | | |
| 開所日数 | 25 | 23 | 26 | 25 | 24 | 24 | 26 | 24 | 23 | 23 | 23 | 26 | 292 | 86.9% |
| 延利用回数 | 136 | 129 | 131 | 122 | 129 | 143 | 120 | 120 | 121 | 119 | 114 | 138 | 1,522 | |

平均実利用数　５．３名（小数点第２位以下切り上げ）

５月に１名が一般就労に移行しています。３月に１名新規利用者をお迎えしました。

■就労継続支援事業Ｂ型（定員２２名）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 利用率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 28 | 28 | | |
| 開所日数 | 25 | 23 | 26 | 25 | 24 | 24 | 26 | 24 | 23 | 23 | 23 | 26 | 292 | 99.5% |
| 延利用回数 | 540 | 514 | 552 | 551 | 560 | 524 | 548 | 520 | 542 | 503 | 478 | 561 | 6,393 | |

平均実利用数　２１．９名（小数点第２位以下切り上げ）

昨年度と概ね同様の推移でした。たのしいどうの半数以上がＢ型の利用者さんです。

■生活介護事業（定員１２名）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 利用率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | | |
| 開所日数 | 25 | 23 | 26 | 25 | 24 | 24 | 26 | 24 | 23 | 23 | 23 | 26 | 292 | 96.2% |
| 延利用回数 | 291 | 289 | 289 | 292 | 283 | 261 | 271 | 278 | 292 | 281 | 267 | 278 | 3,372 | |

平均実利用数　１１．６名（小数点第２位以下切り上げ）

昨年度から現在までで、利用者数の増減はありませんでした。

■短期入所事業

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 延利用回数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

今年度は短期入所事業の利用はありませんでした。将来のイメージ作りも兼ねてグルー

プホームの宿泊体験を優先的に利用されていました。

４．取組みの概要

■利用者支援

□企業就労

年度途中で１名が一般就労へ移行しました。定期的な電話連絡等による状況の把握により定着しています。過去年度に就労移行された方の近況の把握では、しょうがい特性により企業担当の方との折り合いが難しくなるケースに対応して訪問等の支援を行ない、企業側にご本人と関わる上での留意事項等を伝達する事で少しずつ理解が深まってきています。

□事業所内での生産活動（取り組みの詳細は就労事業報告参照）

・パンの製造販売

～販売動向をデータ化し、商品の製造管理を進めました。ラスクのパッケージを変更して贈答品用に使用できる製品としました。併設のカフェでは、キッズコーナーの設置により、徐々にではありますが「ママ会」として活用して頂ける様になってきました。

・菓子の製造販売

～今年度の目標の一つであった冷凍食品としての販売許可を無事に取得することが出来、販売方法の幅が広がりました。全国の見本市では、チーズタルトをスティック状にした新商品を展開し、北海道外の事業所様と流通に向けた調整を進めています。

・利用者昼食、グループホーム夕食の製造委託作業

～昼食製造において利用者さんの健康のため、そしてそらかぜ食堂顧客のニーズに応えていくためのヘルシーメニューの企画を年間通して行ないました。低カロリー、低脂質などのメニューを管理栄養士が立てた献立表に基づいて実施しています。

・紙工芸品と受注作業

～紙工芸「ペーパークイリング」は、年末のしめ飾りの受注販売を重視した生産とした結果、これまでで最高の売上を達成しました。児童公園を清掃する作業に取り組み、利用者さんの真面目な作業姿勢に地域の皆様から評価を頂いています。新たに、資源分解・分別作業を請け負いました。

・「そらかぜ食堂」の運営

～２年目の運営は、集客数も伸び、２７年度を上回る売り上げを達成する事が出来

ました。庁舎内のお客様が多い事から、飽きさせない仕組み作りが求められることから、季節に応じた限定メニューを休まず展開しました。

□やりがいや楽しさを創出する活動

・利用者さんが少しずつ取り組んできたダンスを、２８年度はチーム化することを提案しました。利用者さんの希望で、まずは月２回の練習から開始しています。踊りたい曲やチームの名前など、１からすべてを作り上げていくこととなりますが、日々利用者さんの思いを聞き、取組みを進めています。

■権利擁護

・職員会議の時間を活用した内部研修を常勤向けに実施し、毎週金曜日のパート職員のミーティングでミニ研修を複数回実施しました。しょうがい特性に応じた接遇の対応や、ご自身の思いをうまく伝えられないことが推察される行動など、しょうがいへの理解が深まることに主眼を置いて学習を重ねています。

■苦情解決

今年度の苦情受付は１件でした。人為的なミスによる工賃支給ミスでした。ご家族からの指摘を受けた事案について、スタッフ間でも再発防止に向けて仕組みの改善を行ないました。

要望は１件、安心して自力通所するために必要な配慮に関するものでした。たのしいどうに通所される方には交通機関を利用される方も多く、天候やその他のトラブルにより、何らかの支援が必要となることもあります。ご本人やご家族の不安が少しでも軽くなる様に、様々な面で配慮が必要であることを学ぶ機会となりました。

■災害対応・事故対策

避難訓練を２回実施しました。建物全体に避難情報を伝達するために館内放送を活用していましたが、通信機器にトラブルがあった場合にはどのようにして口頭での伝達を速やかに行なうかを考えるきっかけになりました。

■年間行事

年度内に実施した法人事業所合同の行事に関しては法人の事業報告参照。

■諸会議

・事　業　所　会　議・・月 1 回実施。当初は事業班単位で行なっていましたが、相互連携の必要性から、主に事業所単位での会議としました。

・個別支援計画策定会議・・個別支援計画作成時に 1 ケースごとに実施。計画原案をもとに支援内容等について検討しました。利用者さんにわかり易く提示できるようにスタッフで議論しています。

・ケ　ー　ス　会　議・・日々の利用者支援について情報を共有しています。必要に応じて事例検討を行ない、支援方針を立案しています。

・各　担　当　者　会　議・・全国の福祉事業所間での活発な販売や購入に向けた内需拡大、そらかぜ食堂の運営、企業就労者支援、利用者昼食提供の質の向上、それぞれの目的に合わせた担当者が出席し、諸会議を月１回実施しています。

■健康管理

健康診断を年１回実施し、疾病の早期発見に努めています。定期的な体重測定も利用者さんにご理解頂き継続実施しました。必要に応じて看護師からの助言も行なっています。

■職員研修

年度内に参加した外部研修等に関しては法人の事業報告参照。北海道外への研修に参加した他、逆に全国の事業所が参加する研修会の企画･運営を経験する事で、非常に大きな経験の機会になりました。

■工賃支払い状況

□就労移行支援事業

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 総支給額 | 117,000 | 134,000 | 111,500 | 106,900 | 104,400 | 104,300 |
| 平均額 | 16,714 | 19,143 | 18,583 | 17,817 | 17,400 | 17,383 |

| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 74 |
| 総支給額 | 99,700 | 100,200 | 176,900 | 112,300 | 121,000 | 286,900 | 1,563,100 |
| 平均額 | 16,617 | 16,700 | 29,483 | 18,717 | 20,167 | 47,817 | **21,122** |

□就労継続支援事業Ｂ型

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 |
| 総支給額 | 488,700 | 521,300 | 512,200 | 510,600 | 511,800 | 505,200 |
| 平均額 | 18,100 | 19,307 | 18,970 | 18,911 | 18,956 | 18,711 |

| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 324 |
| 総支給額 | 511,300 | 508,600 | 836,200 | 531,900 | 519,400 | 1,282,400 | 7,242,400 |
| 平均額 | 18,937 | 18,837 | 30,970 | 19,700 | 19,237 | 47,496 | **22,353** |

□生活介護事業

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 |
| 総支給額 | 161,700 | 165,000 | 168,400 | 170,900 | 159,200 | 163,200 |
| 平均額 | 10,780 | 11,000 | 11,227 | 11,393 | 10,613 | 10,880 |

| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 14 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 179 |
| 総支給額 | 155,700 | 162,300 | 342,000 | 160,600 | 179,300 | 557,500 | 2,548,400 |
| 平均額 | 11,121 | 10,820 | 22,800 | 10,707 | 11,953 | 37,167 | **14,237** |

**□事業所全体の平均工賃額　￥１９，６７７／月（４９名）**

５．課題

利用者さんの多様なニーズに対応していく仕組み作りが急務です。個々に合った作業種や役割、休憩時間の過ごし方やその場所や環境、日々の楽しみを提供するための活動の支援など、よりよい事業所作りのために必要な視点は数多くあります。利用者さん一人ひとりの頑張りを確実に収益につなげ、作業以外の活動も手落ちになることなくバランスよく支援の質の向上を図る必要があります。

就労事業の報告

■事業班名：レインボー・クリアー

１．取組みの概要

主に企業からの下請作業に取組む「クリアー班」を新設し、とクイリング製品製造等に取組む「レインボー班」の二つに分けて活動を行ないました。クイリング製品作りでは、主にしめ飾りとクリスマスリースに的を絞って製作を行ないました。

下請作業では、公園管理業務を春から受託し、地域の児童公園の清掃や草刈業務に取組みました。秋頃から、新たにリサイクル分解作業に取り組み、冬季は「有機と福祉の農業」事業に関わり、ＪＡと共同して岩見沢産玉ねぎの梱包・発送業務を行なう等の様々な作業に取組みました。

２．成果

クイリング作業で製造したしめ飾りは多数のご注文を頂き、過去最大の売上を上げる事が出来ました。今後も計画的に製造を行ない、お客様のニーズにお応えできる様にしたいと思います。また、下請作業の幅を広げたことで、利用者さん個々の得意分野が活かせる作業種の提供に向けて一歩前進をすることが出来ました。

楽しみを提供する支援として継続して取り組んでいるレク活動では、約５年ぶりにハンドベル演奏会を催しました。ＨＡＲＵカフェ店舗を活用し、軽食をご賞味頂きながらハンドベル演奏を楽しんで頂きました。

３．課題

班が分かれたことで役割が明確になりましたが、取り組む作業内容により、所属する班やどちらの班で請けた仕事かに拘らず、協力し合いながら取り組みを進めることが、利用者さんが活き活きと取り組める作業環境を作っていくために必要だと考えます。

■　事業班名　ぱん工房春いろ&HARU カフェ

１．取組みの概要

売れ残りの商品を廃棄することで発生する損失は一日・一週間・半年・一年と考えていくと、製造に係る労力も含めてとても大きな損失となっていました。以前より進めていた販売の記録を元に廃棄率の高い商品を再検討し、販売が見込める外販先や受注製造に切り替える等の対応を行ないました。結果として売れ残りを抑えることに繋がりました。また、販売先で売れ残った際には飛び込みで販売をさせて頂き、作った商品をなるべく売り切る努力をするように心掛けて運営をしています。

| 春いろ店舗<br>人気商品ベスト５（販売数） | |
|---|---|
| １位 | 自家製クロワッサン |
| ２位 | ハイジの白パン |
| ３位 | ミニパン詰め合わせ |
| ４位 | パン耳かりんとう |
| ５位 | ウインナーロール |

２．成果

材料の原価が高騰している中ですが、年度当初に予定していた工賃額を確保する事が出来ました。利用者さんにも製造管理に関心を持って頂く事ができ、仕込み表や受注書を確認してくれており、より一層パン工房の一員である思いを強く持って頂けるようになってきたと思います。

二次加工品のラスクを「もったいないから」という考え方ではなく、お客様が買いたいと思うものにしようと考え、試行錯誤の末に「しみちょこラスク」の製品化にたどり着きました。ギフト用として北海道外への発送も含め、売行きは良好です。

しみチョコラスク
「ちょこりこ」

３．課題

パンの地方発送に向けた取り組みでは、パン工房として冷凍発送が可能な商品種類の確保や品質の保持を確立し、継続的な取り引きの実現を目指しています。お客様目線で考え商品提案が出来るよう試作を重ね、引き続きパンの冷凍発送の確立に向け取り組んで行きます。現在６０種を数えるパンの売れる場面、時期等を十分に考え、効果的に商品を作ることが課題です。

また、カフェ運営では、各種会合でご利用頂く場面も少しずつ増えてきましたが、多くの方に集っていただける機会を増やせるよう、来期はイベントを設けてお客様に発信していければと思案中です。お客様の声で多いのはパン教室ですが、検討を重ね、取り組みを進めていきます。

■　事業班名　HARU　Berry

１．取組みの概要

他法人との施設間取引を進める「内需拡大」の取り組みで、今年度もたくさんの施設・事業所様からご注文を頂きました。直接販売や加工しての販売などのご希望にお応えするため、冷凍食品の営業許可を取得しています。

イベント製品の製造時は生産量も多く、見通しが立ちにくい課題もあったため、２８年度は製造計画書に基づいてスケジュール管理をすることで、利用者さんにも進み具合が分かりやすい様にしました。

今年度から新しく、栗沢・美流渡デイサービス様のおやつ作りを始めました。メニューの幅をもたせるため、試行錯誤しながらではありましたが、和菓子等にも挑戦しました。

デコレーションロールケーキは
X'mas・誕生日に好評

冷凍ロールは 90 日保存を達成

２．成果

クリスマスやバレンタイン等、お菓子を食べる季節のイベントには必ず商品の企画やチラシ配布等の営業活動を行なうことでたくさんのご注文を頂くことが出来ています。冷凍食品製造の許可を取得する事で、仕入れて頂くお客様が冷凍のまま販売できる様になったため、商品の紹介がしやすく、営業しやすくなりました。デイサービスのおやつ作りは毎日の様にご利用いただけるので、他の注文が少ない月でも安定して収入を得られる様になっています。

３．課題

製造スケジュールを管理し、計画的に進める様にしたことで慌てて製造をすることは少なくなりましたが、それでも大量受注があった時の製造には時間を要してしまう課題が残ります。職員の配置や設備の面も含めて、効果的に動ける仕組み作りを今後考えていく必要があります。

菓子製造の様子。衛生面も
声を掛け合って意識向上に努める

■事業班名：さんくっく

１．取組みの概要

引き続き、法人より委託を受けて。利用者さんの昼食製造作業に取り組みました。多様な献立の実施に向けて、全国の仲間の事業所の食材や製品を取り入れ、食べたことの無いものが食べられる、楽しいメニュー作りに努めました。また、利用者さんの健康面に少しずつ配慮が行き届く事を目指して、低カロリー、低脂質などの健康メニューを企画立案し、実際の献立に反映させました。

ヘルシーメニュー（主に減塩）試作案

12/15（木）豚肉のねぎレモン炒め献立

エネルギー：662kcal　食塩相当量：2.9g

（１日目標量 男性：9g未満/日、女性：7.5ｇ未満/日）

※調整前食塩相当量： 4.7g

・食塩相当量を抑えた献立にしています。醤味・辛味・こくなどで少なくした塩分を補うようにしています。

＜変更点したことにより減少した食塩相当量（ｇ）＞

| | 変更前 | 変更後 | 減った塩分 |
|---|---|---|---|
| 味噌汁 | 味噌 8g | 味噌 6 g | －0.3 g |
| | | 椎茸戻し汁 100g | |
| | だしの素 0.8g | だしの素 0.5g | |
| レモン炒め | 塩 1.5g | 塩 0.7g | －0.7g |
| | | レモン汁 3.8g | |
| | | ごま油 1g | |
| サラダ | 醤油 9g | ごまドレッシング 15g | －0.8g |
| | 砂糖 3g | | |
| | みりん 3g | | |
| 合計 | | | －1.8g |

合計　食塩相当量：－1.8ｇ

食材や調味料や調理方法を

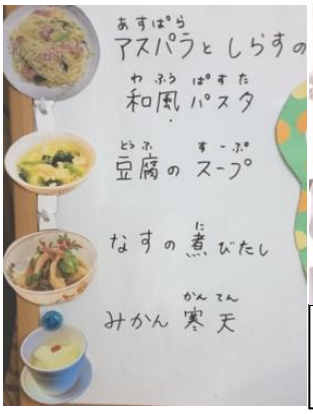
工夫することでヘルシーにする

２．成果

健康メニューは毎月１回以上の実施を目指し、無事に１年間休まず続ける事が出来ました。今後も味付けの修正等を加え、健康でおいしく食べられるお昼ご飯の製造を目指します。仲間の事業所からの食材・製品の仕入れは、空知の風の製品を逆に購入して頂く呼び水にもなったようで、ロールケーキ等の発注を頂くなどの効果もあったようです。

３．課題

使用している設備類の劣化がところどころに見られています。修繕や買換え等の検討が必要かもしれません。また、野菜類の高騰の影響は無視できません。おいしい食事の提供は絶対条件ですが、利用者さんの工賃となる利益の確保のためにも、食材の仕入れ等は今後も工夫が必要です。



メニューは目で見てわかりやすく。

食事の楽しみはお仕事の活力です！

■事業班名：そらかぜ食堂

１．取組みの概要

空知総合振興局食堂の運営も２年目を迎えました。昨年度の運営を振り返った上で、集客増と客単価増を目指し、新商品の展開や各種企画など、お客様を飽きさせない食堂作りに努めました。

スープパスタや焼きそば、鍋焼きうどんなど、

お客様の声や今までなかった定番、季節に応じたメニューを提供

２．成果

年度目標の年間来客数２万人、売上げ１０００万円を突破する事が出来ました。行政機関の庁舎内という性質上、同じお客様に月に何度もご利用いただく事を念頭に置き、新商品や期間限定商品などの展開も行なうことが出来、手ごたえをつかむことが出来ています。新商品は概ね１か月ほどで需要は落ち込むこともわかり、間を空けずメニューの提案を行なう重要性も知ることが出来ました。

| 人気商品ベスト５ | |
|---|---|
| 1位 | 日替わり定食（A・B） |
| 2位 | カレー・カツカレー |
| 3位 | 特盛ざるそば |
| 4位 | しゃけおにぎり |
| 5位 | ソースカツ丼 |
| 年間来客数 | 21866人 |

３．課題

職員の方々の福利厚生施設としての使命もあり、提供価格を低めに設定していることで、利益が出にくい運営スタイルであることが課題です。仕入れ等の工夫は今後も必須です。また、安定してランチタイムを運営していくためにはまだ人手が不足しています。昼時は大変忙しいお仕事ではありますが、力を合わせて頑張っていきたいと思います。

■データ（たのしいどう）

１．製造販売事業　売上２，９４０万円　　工賃還元額１，０５２万円

２．下請加工事業　売上　　１０６万円　　工賃還元額　　８３万円

平成２８年度　きっちんどう　事業報告

１．総括

法人として、空知の風５年の節目。きっちんどうとしましては、大きな挑戦をした１年となりました。これまで、創作おにぎり・仕出し弁当を個人客や仲間の福祉事業所、近隣の団体の皆様からの受注にお応えする形態で仕事を増やして参りました。

平成２８年度のきっちんどうには、４月から大きな２つの変化がありました。

一つは、市内の不動産業者よりご紹介を頂いた工期２年の現場にお昼ご飯を提供してほしいという件。数も１日２０～３０個とまとまった数を月～土の毎日、ご提供するという受注に挑戦いたしました。もう一つは、市内の高齢者施設の昼食を提供してほしいという件。数は、上記の現場と同様の数で、月～土の毎日のご提供。ただし、お召し上がりいただく対象者が“高齢者”の方たちですので、味・食感・大きさなど高齢者の皆様が安心して、安全に食事できるご飯の提供をすることにも挑戦させていただきました。４月当初は、この２つの挑戦をどのようにこなすことができるのかの試行錯誤で、職員も混乱をしましたが、利用者さんが役割を一つずつ担ってくれるようになっていき、これらの昼食提供を大きなトラブルなく進め、食品事故を起こすことなく１年間提供することができました。提供した高齢者施設の方からは、「これまで、食事をしなかったご利用者様が、皆さんの「美味しい」という言葉に惹かれて、食事を摂ってくれるようになりました」という感想を伝えられたこともあり、製造に携わった職員・利用者さんにとって、この一年で一番嬉しかったお言葉でした。

その他、空知総合振興局の「そらかぜ食堂」でのおにぎり販売や全国の福祉事業所へ肉巻きおにぎりの発送、お弁当の大量注文への対応も併せて、取り組みました。結果、利用者さんへの平均工賃が１万円ほどＵＰすることができ、頑張った利用者さんの喜ぶ姿がとても印象に残った１年となりました。また、きっちんどうから一般企業（パートタイム）へ挑戦したメンバーも出ています。それぞれの力を生かし、各々の可能性を探した１年でもありました。

２．実施事業

| | | |
|---|---|---|
| 就労継続支援事業Ｂ型 | 定員１４名 | 現員１９名 |
| 生活介護事業 | 定員　６名 | 現員　６名 |

３．平成２８年度の利用状況

■きっちんどう全体（定員２０名）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 利用率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 24 | 24 | 24 | 24 | 23 | 23 | 23 | 23 | 24 | 24 | 23 | 24 | 25 | |
| 開所日数 | 25 | 23 | 26 | 26 | 24 | 25 | 27 | 25 | 25 | 24 | 25 | 26 | 301 | 96.8% |
| 延利用回数 | 482 | 475 | 509 | 504 | 481 | 480 | 495 | 476 | 509 | 474 | 439 | 506 | 5,830 | |

平均実利用数　１９．４名（小数点第２位以下切り上げ）

就労継続支援事業Ｂ型

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 利用率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 18 | 18 | 18 | 18 | 17 | 17 | 17 | 17 | 18 | 18 | 17 | 18 | 19 | |
| 開所日数 | 25 | 23 | 26 | 26 | 24 | 25 | 27 | 25 | 25 | 24 | 25 | 26 | 301 | 100.2% |
| 延利用回数 | 359 | 322 | 364 | 364 | 336 | 350 | 378 | 350 | 350 | 336 | 350 | 364 | 4223 | |

平均利用数　１４．５名（少数点第２位以下切り上げ）

生活介護事業

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 利用率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| 開所日数 | 25 | 23 | 26 | 26 | 24 | 25 | 27 | 25 | 25 | 24 | 25 | 26 | 301 | 84.9% |
| 延利用回数 | 123 | 126 | 132 | 127 | 133 | 126 | 134 | 125 | 136 | 120 | 116 | 136 | 1534 | |

平均利用数　５．０名（少数点第２位以下切り上げ）

２７年度と比較し、現員数の変化はありませんでした。前年度比の利用率は、－０．５％。

４．取り組みの概要

２８年度のきっちんどうとして、昨年同様、食品製造販売事業を利用者支援の主軸として活動を実施。主におにぎり製造販売、弁当製造販売、昼食提供事業にて活動を行ないました。また、下請け加工事業では、つながりのある福祉事業所の製品を販売する「内需」製品の販売に取り組みました。

利用者の安全を第一に、受け入れの確認及び日中での支援を実施いたしました。また、生産活動では食品加工での食品事故が起きないように「手洗い支援」「異物混入ゼロ」

に重点を置き支援を行ないました。

年に２回定期的に行っている火災想定の避難訓練の他に災害想定の避難訓練も実施いたしました。

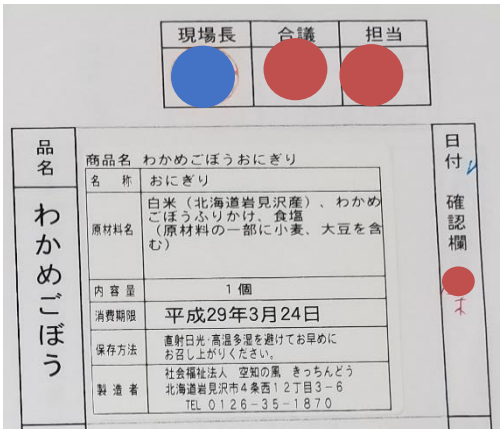
■利用者支援

支援の主軸である生産活動事業では、おにぎり・弁当製造を中心に活動を実施しました。

２８年度は、大量注文に合わせて、高齢者施設への食事提供への挑戦となりました。２８年度一番の大量注文は、ヤマト運輸様の野球大会。一度の注文で３００個を製造。この日は通常のお弁当と合わせて、３６８個の製造でしたが、みんなで協力して、製造・納品とこなすことができました。高齢者施設への食事提供では、薬とのかね合わせで食べられないものを除いたり、それぞれの咀嚼力に応じて、おかずの大きさを調整したり、おかゆにしたりと個別対応を行いました。　個々のニースがわかり易くなるように、来所予定日に色を付け、ご飯は普通食・おかゆ食を提示。

おかずのきざみや一口大にする必要があるのか。禁食はある人かまた、何か食べられないものは何かを一枚の個別カードにして、利用者さんも職員も盛り付けの時に確認しやすくして、取り組みました。

このカードは、盛り付け後、蓋の上に貼り付け、高齢者施設の職員さんも配膳時に確認し易いと大好評で、新利用者さんが増えるために、カードを作って提示をするようにしています。




製品をたくさん作って売るために、商品の食品表示の誤りが起きないように気を付けて進めてきました。

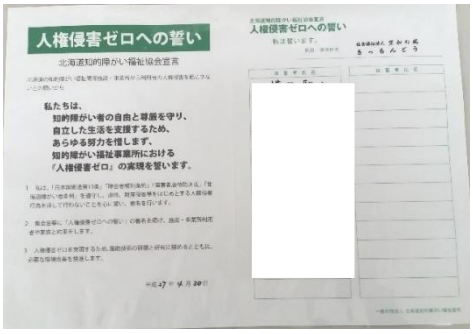
人の作業にはどうしても間違いが生じてしまうので、一人で進めるのではなくダブルチェック・トリプルチェックを実施するようにしました。利用者さんにもその役割を担ってもらっています。

製造した商品の販売強化として、２８年度は、日本知的障害者福祉協会の有志で開催している「食とものを通じて新しいビジネスネットワークを考える研修会（通称：食ものネットワーク研修会）を北海道江差町にて開催。地元北海道開催ということもあり、空知の風は事務局としても奮闘たしました。また、日本知的障害者福祉協会による第５回全国生産活動・就労支援部会職員研修会（福岡大会）に参加させていただきました。

全国各地から食ものネット研修会にたくさんの参加者を迎えることができました

今年の見本市は九州で“北海道のチカラ”を大アピールしてまいりました。

肉巻きおにぎりを棒に刺し、お客様が催事場を歩きながらでも食べられる形状にして販売を試みました。研修会後、皆さんがそれぞれの事業所に戻って行事を行う際に「見本市で食べたあのおにぎり、食べやすかったな」と思い出していただけると嬉しく思います。今回は、北海道販売ブースとして「ラーメン」も出展。北海道で販売促進している事業所の力を合わせ、福岡県で大アピールもしてきました。




■権利擁護

権利擁護・苦情解決委員会の活動としては、年度初めに北海道知的障がい福祉協会にて行なわれている「人権侵害ゼロの誓い」の署名を実施。日本知的障害者福祉協会の倫理綱領をスタッフで読み合わせを実施。年度途中にも法人内研修にて再度、取り上げ読み合わせを行なっています。今年度は７月に起こった「津久井やまゆり園」での事件が起こったことで各事業所にも権利擁護と防犯体制を国や自治体から強く確認されることが増えました。

私たちが日ごろ、当たり前のように障がいのある方たちと過ごしていることが全否定されるような事件でしたが、この事件よりさらに権利擁護についての考えを改め、日ごろからの地域での事業所としての在り方を含め考える時間を持っています。

■苦情解決

苦情受付については、２８年度０件となっています。

利用者さんからの要望については、日頃より苦情窓口の担当者をはじめ、各職員にて対応し、要望の聞き取りや要望への対応を日々行っています。

今後も利用者、ご家族、障がいのある方たちの身近にいる方たちから気軽に要望や相談が行なえるように対応していきます。

■感染症対策

利用者支援で実施している食品衛生面での取り組みは、感染症においても良い影響を与えています。月一度の検便も大きな役割を果たしています。２８年度は、季節外れの年度当初にインフルエンザにかかる方がおられましたが、集団感染することはありませんでした。ご家庭や生活支援等でも連携及び協力をいただいたことで、衛生面でも清潔な事業を維持することができましたし、感染症に至ることはありませんでした。

■災害対応・事故対策

非常災害・事故対策では、火災想定の避難訓練を年２回実施（６／１４、１１／４）。利用者・スタッフ一同、改めて火災での災害時の対応方法、避難経路、避難先を確認する内容にて訓練を実施しました。

また、２８年度には北海道富良野に台風１０号が上陸し、仲間の事業所で大きな被害を受けています。自然災害はどんなところでも起き得ることを肝に銘じ、秋の避難訓練では消防の方より自然災害時の対応を直接、指導いただいています。また、災害時の燃料・非常食確保を進めておく備えを進めています。

ダミーを使用した避難訓練を実施。

■年間行事

| 日時 | 行事名 | 会場 |
|---|---|---|
| 6/14 | 避難訓練 | きっちんどう |
| 7/15 | 健康診断 | たのしいどう |
| 7/19～21 | 食ものネット研修会 | 江差町 |
| 9/7～9 | 日福協全国職員研修大会 | 札幌コンベンションセンター |
| 9/28 | 北海道社会就労センター研修会 in 岩見沢 | 岩見沢ホテルサンプラザ |
| 8/6 | 空知のチカラ | 砂川こどもの国 |
| 11/4 | 避難訓練 | きっちんどう |
| 11/18～19 | 全国生産活動・就労支援部会職員研修会 | 福岡県福岡市 |
| 1/8 | LP ガス協会主催　キャラ弁教室 | きっちんどう |

今季大量注文頂いた 700 円弁当

キャラ勉強室の参加者と一緒に

■諸会議

・法人全体会議・・定例で月１回実施。

・事業所（班）会議・・月一度の全体会議の他に事業所会議を月１回ペースで実施。
全体会議であがった案件や事業所の議案について検討しました。

・個別支援計画策定会議・・利用者の個別支援計画作成時に 1 ケースごとに実施。個別支援計画原案をもとに支援計画の支援内容等について検討しました。利用者さんにわかり易く提示できるようにスタッフで議論し、作成に努めています。

・ケース会議・・・・日々の利用者支援について検討を行ない、支援を実施しています。

■健康管理

7/15　全利用者、スタッフに対して健康診断を実施。２８年度も任意での取りまとめとなった検診でしたが、たくさんの利用者が検診を行なわれています。

一般検診の身体測定、視力検査、聴力検査、血液検査、尿検査、胸部Ｘ線、心電図、個人からのオプション検査。検査結果により、個人相談及び精密検査を勧めています。

■支援記録

利用者支援記録及び事業所日誌を通して、記録の在り方をスタッフと確認しています。第三者に閲覧していただくことがあっても適正な記録として見て頂けるような内容の記載を行なうように伝えています。１日の中で「できたこと」や「良い表情が見られたこと」などに目配りし、少しでも利用時間中に利用者さんが楽しんでおられた様子の記録をしていくことが大切であることを昨年同様、継続指導しつつ、記録を残しています。

■職員研修

行政や各福祉団体からの法の改正における制度の研修、利用者支援・権利擁護における研修、生産活動における研修等で外部研修に　１６回延べ１９名参加しています。

内部研修も不定期ではありましたが実施。基礎知識を含め、制度、記録方法、個別支援計画作成についてなどの研修を行なっています。

■施設整備状況

消耗器具備品・・・厨房内湯沸かし器

修繕・・・・・・・裏玄関取り換え工事、セコム機器設置

■工賃支払い状況

□就労継続支援事業Ｂ型

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 17 |
| 総支給額 | 338,000 | 342,000 | 336,400 | 347,000 | 343,600 | 343,500 |
| 平均額 | 18,778 | 19,000 | 18,689 | 19,278 | 19,089 | 20,206 |

| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 17 | 17 | 17 | 18 | 17 | 18 | 211 |
| 総支給額 | 342,000 | 344,100 | 1,674,300 | 342,500 | 342,400 | 1,598,800 | 6,694,600 |
| 平均額 | 20,118 | 20,241 | 98,488 | 19,028 | 20,141 | 88,822 | **31,727** |

□生活介護事業

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 総支給額 | 83,400 | 83,800 | 88,400 | 82,400 | 82,800 | 84,800 |
| 平均額 | 13,900 | 13,967 | 14,733 | 13,733 | 13,800 | 14,133 |

| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 72 |
| 総支給額 | 84,300 | 84,000 | 560,900 | 83,600 | 84,300 | 294,000 | 1,696,700 |
| 平均額 | 14,050 | 14,000 | 93,483 | 13,933 | 14,050 | 49,000 | **23,565** |

**□事業所全体の平均工賃額　￥２９，５６５―（２５名）（対２７年度比　＋１０，２２３円）**

５．課題

利用者さん、職員ともに精一杯走りぬいた 1 年だったように感じます。この製造販売を継続して行っていくためには、今後、設備投資が必要になってきます。製造、盛り付け、洗浄と限りあるスペース・時間の中で今以上に高めていくためには、手作業だけでは時間内に終えられないことも出始めています。効率化と細分化を混ぜ合わせた上で、結果、昨年よりやれることが多くなったと実感できるそんなきっちんどうの環境整備を進めていきたいと考えています。今年度、平均工賃を向上させることができましたが、今度はこの維持をしていくことが課題です。利用者さんが「また、きっちんどうで頑張る」そう思ってもらえる場になれるような職員の人材育成及び確保も課題です。

## 就労事業の報告

▲事業班名　てのひら

１．取組みの概要

食品製造班として、おにぎりの製造販売・弁当の製造販売・利用者昼食提供に取り組みました。

今年度のおにぎり製造では、冷凍流通保存品としての「肉巻きおにぎり」をさらに皆様に食べていただき易くなるように従来の形から下の写真のような棒に刺し、手を汚さなくてもイベントなどで使用できるようにリニュアルしました。福岡で行なわれた「第５回全国生産活動・就労支援部会職員研修会」の物産展では４５０個の肉巻きおにぎりを販売しお客様にたくさんＰＲさせていただきました。

また、お弁当製造では、これまで福祉業界での“内需”として全国の障害福祉事業所と商品の売買を進めてきていますが、その商品を事業所で消費するだけではなくさらに加工して販売するため、香川県「さぬきうどん」の本場で製造されているうどんを仕入れ、夏の暑い時期にのど越し良く食べられる「うどん弁当」として製品化したり、奈良県のプライベートブランドとして製造できるカレーを製造されているカレーを「カレー弁当」として製品化を進めたりしています。

第５回全国生産活動・就労支援部会職員研修会福岡大会での販売ブース

肉巻きの携帯を新しくした「肉巻き棒」福岡大会から販売開始

香川県の社福）ナザレの村あじさいで製造したうどんを使用した「うどん弁当」

奈良県青葉仁会ﾃﾞﾘｶﾃｯｾﾝｲｰﾊﾄｰｳﾞで製造されているｶﾚｰを使用した「カレー弁当」

また、今年度は、お弁当製造として新たなチャレンジを行っています。

２７年度末から市内の高齢者施設より昼食の食事提供をしてもらえないかと打診があり、４月１日より開始しております。これまでの使い捨ての折ではなく、メラミン製の容器を使用して提供を行っています。食べていただく方が高齢者ということで、非常に多くの配慮が必要な作業でした。

また、２４年度から続けさせて頂いているＬＰガス協会さんより承っている小学生対象のキャラ弁教室も今年度も実施致しました。

キャラ弁教室の様子。皆さん、真剣に調理を進めていました。

今回のキャラクターは“ピカチュウ”ｻﾌﾞｷｬﾗｸﾀｰを付けて可愛く仕上りました。

今年もの食品異物混入事故の多くの事例から、当事業所でも白衣付着の異物取り除きに重点を置き、異物混入対策に取り組みました。

２．成果

おにぎりの部門では、「第５回全国生産活動・就労支援部会職員研修会」でアピールをさせていただいたことを含め、全国の事業所ざまより「肉巻きおにぎり」「肉巻き棒」「パリゾット」と冷凍流通保存品として、きっちんどうで製造した商品を購入いただきました。

きっちんどうでの販売先は、２６法人　３団体。約１８２万円のお買い上げをいただいています。

お弁当製造では、近隣の福祉事業所や市内の企業や行政機関などからもご注文頂く事ができました。また、２６年度に助成をいただきましたヤマト運輸様より社内行事のお弁当を数回ご注文いただきました。最大で今年度も３００個の受注を無事にこなすことができ、　１００個以上のご注文に利用者も職員も自信を持って取り組めるようになっています。

お弁当製造では、年間１，４８０万円の売り上げとなる取り組みとなっています。

その中に、今年から開始しました市内の高齢者施設の昼食提供も含まれています。初めは、量と食事における配慮とで、悪戦苦闘しました。

その為、個々のニースがわかり易くなるように、来所予定日に色を付け、ご飯は普通食・おかゆ食を提示。おかずのきざみや一口大にする必要があるのか。禁食はある人かまた、何か食べられないものは何かを一枚の個別カードにして、利用者さんも職員も盛り付けの時に確認しやすくして、取り組みました。このカードは、盛り付け後、蓋の上に貼り付け、高齢者施設の職員さんも配膳時に確認し易いと大好評で、新利用者さんが増えるために、カードを作って提示をするようにしています。

高齢者施設の
個別の掲示カード

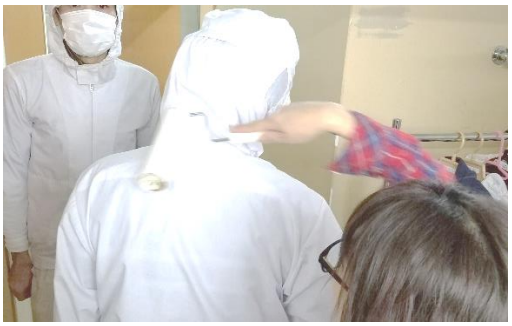
今年度、一年を通して大きな事故が起きることもなく、高齢者の皆さんから「美味しかった」という声をたくさん聴くことができました。中には、今まであまり食事を摂ることがなかった高齢者の方が周りの「美味しい」という言葉に“自分も食べたい”と食事を摂り始めた方も出てきたという嬉しい報告も受けています。

２８年度のキャラ弁教室は、人気アニメの『ポケモン』のキャラクター“ピカチュウ”にチャレンジしました。数年開催させていただいていると２回目の参加というお子さまもいらっしゃって楽しみにしてもらっている様子がうかがえました。

空知知的しょうがい福祉協会主催
卓球大会のお弁当

大量注文時の厨房の様子
みんな真剣に盛り付けています

食品製造における衛生の取り組みとしましては、２点について実施を行ないました。一つはすっかり定着してきた“手洗い支援”の完全実施。二つ目は、こちらも定着している異物混入対策として、スタッフによる利用者一人一人への白衣のローラー掛け。そして出品や納品する製品のチェックを必ず２人以上で行なうダブルチェックの仕組みを作りました。食品を販売していくということは、一つひとつの商品に責任があることをスタッフ間、また利用者とも共有し衛生・食品表示への意識を高めています。



厨房入室前に職員が粘着ローラーテープで異物を除去。

手洗いは入室時や工程が変化する度に実施。

３．課題

今年度生産活動では、受注に丁寧に応えることに心掛けました。高齢者施設の食事提供は、たくさんの配慮が必要でしたが、その分たくさんの学びもありました。地域で暮らしている高齢者のお弁当を届けることもありますので、高齢者施設で経験したことを生かすこともできました。今後も引き続き、高齢の方でも安心して食べることができる食事作りにおける情報を勉強する必要があります。

また、これまで進めてきた食品における生菌検査は、私たちの製造場の衛生面について客観的に数値として評価されるものであったりしますが、メラミン製の使い回す食器の使用については、衛生面でのリスクが高まるため、食器洗浄機などのより衛生的な食器の保管および洗浄ができる環境を作る必要を感じています。

売り上げが伸びてきたことで、製造力も併せて伸ばしていく必要も感じています。手作りで行うべきところで残すべきところは残していきますが、より効率的に事業を進めていくために、必要な設備投資は必要であると感じています。皆様からのご要望にお応えするためにも質・量ともに向上していくことが課題です。利用者・職員共に限られた時間での活動ですので、様々な視点から効率アップは欠かせない状況です。

４．データ

利用者実人数：２５名
生産活動売上：２，１８２万円
工賃還元額　：８２１万円

▲事業班名　まごころ

１．取組みの概要

下請加工事業班として、外部への職場実習や自動販売機の管理等を実施しました。２８年度も福祉業界内での“内需”商品の仕入れ販売を行っています。

今年度は、北海道でも自然災害がたくさん起きました。特に台風１０号における被害は、仲間の施設も被災され、復興のお手伝いにもうかがいましたが、備えがどれだけ大切なものであるかを痛感した年でもありました。そんな中、北海道の仲間の事業所が製造している「災害用備蓄パン」「備え餅」などは、お客様の関心も高い様子でした。

北海道産のいもや毛ガニを本州の事業所に販売することにも挑戦しました。

２．成果

周知のする力が足りないこともあり、多くの商品を販売することはできませんでした。しかし、「使って便利」「備えて安心」という商品が沢山あることを知り、事業所の備蓄品や消耗品として持っていられる商品でもあるため、販売しながらも大変重宝する商品となっています。

災害備蓄用　供え餅
「あん」と「ゴマ」の２種の味が食せる

ホッキ貝が入った自然素材の融雪剤
貝が滑り止めの効果も果たしています

３．課題

商品力は高いものがたくさんあるので、販売時期にしっかりアピールし皆様に使っていただけるように宣伝することが課題と感じている。製造販売が中心ではあるが、この内需商品の周知にも力を入れていきたい。

４．データ

利用者実人数：２５名
下請加工売上：３７万円
工賃還元額　：１７万円

平成 28 年度　あかるいどう　事業報告

１．28 年度事業の総括

平成 25 年度に開設した、事業所「あかるいどう」も 4 年が経過しました。多様化するニーズの活動拠点とし、取り組みを進めてきたこの１年の中でも、様々な活動の挑戦や充実を目指して行ってきました。事業所内における創作活動や下請け作業、清掃業務委託を通じた日中活動支援を実施しました。また、27 年度から取り組み始めた惣菜業も１年経過し、そらかぜ食堂だけの惣菜納品ではなく、事業所間の給食のおかずとして、惣菜を献立に取り入れて頂く等、惣菜製造量が増えることにより、個々の作業技術への成長がより感じられた１年ともなりました。

障がいのある方達の芸術作品を常設展示する「アトリエ」も、試行錯誤の繰り返しの中で、開設して 4 年経過することが出来ています。制作活動では、今年度も 3 つのテーマを設け、作品展示の入れ替えに向け、様々な技法や材料を取り入れた制作へと取り組んでいます。また 28 年度は、アールブリュット主催の展示会とフォーラムが岩見沢市で開催され、利用者さんの作品が展示されています。また、利用者さんの描いた絵が、チラシやポスターの表紙に選ばれる等、新たな挑戦の機会を頂けた１年ともなりました。27 年度から取り組み始めて来たアート商品の種類も少しずつ増え、利用者さんの芸術作品をより多くの方達に観て頂く、知って頂ける機会へと繋げる事も出来ています。創作活動の歩みはとてもゆっくりではありますが、少しずつ様々なカタチとなり、発信や評価へと結び付ける事が出来た１年となりました。

２．実施事業

就労継続支援事業　　定員１０名　　現員１１名

生活介護事業　　定員１０名　　現員１０名

３．平成２８年度の利用状況

■あかるいどう全体（定員２０名）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 利用率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 18 | 19 | 18 | 19 | 18 | 19 | 18 | 19 | 18 | 18 | 19 | 19 | 222 | 75.1 % |
| 開所日数 | 25 | 23 | 26 | 25 | 25 | 24 | 25 | 24 | 24 | 23 | 23 | 26 | 293 | |
| 延利用回数 | 366 | 362 | 370 | 369 | 373 | 362 | 373 | 363 | 372 | 358 | 344 | 389 | 4,401 | |

平均実利用数　１８．５名（小数点第２位以下切り上げ）

■就労継続支援事業（定員１０名）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 利用率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 10 | 11 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 | 10 | 122 | |
| 開所日数 | 25 | 23 | 26 | 25 | 25 | 24 | 25 | 24 | 24 | 23 | 23 | 26 | 293 | 88.0% |
| 延利用回数 | 213 | 211 | 220 | 215 | 221 | 211 | 218 | 212 | 217 | 213 | 201 | 226 | 2,578 | |

平均実利用数　１０．２名（小数点第２位以下切り上げ）

■生活介護事業（定員１０名）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 利用率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 8 | 8 | 8 | 9 | 8 | 9 | 8 | 9 | 8 | 8 | 8 | 9 | 100 | |
| 開所日数 | 25 | 23 | 26 | 25 | 25 | 24 | 25 | 24 | 24 | 23 | 23 | 26 | 293 | 62.2% |
| 延利用回数 | 153 | 151 | 150 | 154 | 152 | 151 | 155 | 151 | 155 | 145 | 143 | 163 | 1,823 | |

平均実利用数　８．３名（小数点第２位以下切り上げ）

４．取組みの概要

28 年度日中活動の取り組みとして、製造販売事業と下請加工事業に分かれ、個々の特性に応じた作業内容と、新たな取り組み、挑戦へと支援を行っています。

製造販売事業では、昨年に引き続き、利用者さんへ提供する昼食製造、そらかぜ食堂に納品、販売を行う小鉢への惣菜製造、事業所間の昼食や歩～夢の夕食献立としての惣菜製造も合わせて行なっています。今年度も、昼食献立メニューとして、全国の事業所が製造する商品を食材として積極的に取り入れ、内需取引を計画的に進めています。下請加工事業では、館内清掃と市内の高齢者施設における清掃、そらかぜ食堂で働く利用者さんの販売業務委託も昨年に引き続き行なっています。また 28 年度からは、広告業務と絵画レンタル業務を新たに始めています。広告業務では、各事業所からチラシやポスター、広報誌等の依頼を請け、制作を行なっています。絵画レンタル業務では、そらかぜ食堂やパン工房春いろ店舗、きっちんどう店舗の壁に飾る絵を制作し、定期的に作品の入れ替えを行なうレンタル業務を新たに始めています。

５．成果

■利用者支援について

□就労継続支援事業

就労継続支援事業では、製造販売事業と下請加工事業の取り組みの中で、個々の成長に合った作業種の提供や、様々な取り組みへの挑戦を繰り返し行ない、工賃向上の結果として、繋げていけるよう支援を行なっています。

□事業所内での生産活動（取り組みの詳細は就労事業報告参照）

日中活動の生産活動では、27 年度から取り組み始めた惣菜製造も少しずつ工程が慣れ、利用者さんの調理工程の成長もより感じる事が出来ています。慌しい日々の中でも、一人ずつが責任をもって進める工程も増え、「より美味しいものを作ろう」という食に対しての興味や意識も出ています。作る事の楽しみや達成感を大切に、商品としての安全性を高めていけるような支援を今後も実施していきたいと考えています。

創作活動では、作品を常設展示するアトリエに飾る作品も年々感性が広がり、素晴らしい作品が増えてきています。展示の飾り方も工夫しながら、より利用者さんの芸術作品を観て頂く、個性や感性に気付い頂けるよう取り組みを行なっています。また、一人ひとりが、好んだ創作内容や得意とする技法を選択することで、個々が持った才能が作品となり、またアート製品の一つに繋がる活動へと活かされてきています。

■権利擁護について

権利擁護・苦情解決委員会の活動としては、年度初めに北海道知的障がい福祉協会にて行われている「権利侵害ゼロの誓い」の署名を実施。日本知的障害者福祉協会の倫理綱領をスタッフで読み合わせを実施。年度途中にも法人内研修にて再度、取り上げ読み合わせを行い、法人独自の危機管理アンケートを実施し、自己点検をスタッフ個々で行っています。また、自己覚知について研修し、利用者支援において事前に対応をチームで決める等、ケース対応について検討しております。

■苦情解決委員会

苦情受付については、今年度２件となっています。苦情件数は２件で、親御さんより配布物の受け渡しに対する苦情と、利用者さんから職員の人事や支援による苦情の２件となっています。要望は０件となりましたが、相談や内容等は、利用者さん一人ひとりから口頭で受け付けており、随時対応を行っています。

■感染症対策

感染症対策として、年に一度の健康診断実施やインフルエンザ予防接種の奨励。感染症については、月一度の検便も大きな役割を果たしています。
今年度、感染症に罹った利用者、スタッフは０名で終えることができています。

■災害対応・事故

非常災害・事故対策では、6/14、11/4 に火災想定による避難訓練を実施しています。利用者さん・スタッフ一同、改めて火災、地震、土砂、雪害等の災害時の対応方法、避難経路、避難方法、避難先の内容確認と周知となる良い機会となりました。

事故防止においては、交通事故や支援中の事故ばかりでなく、個人情報の取り扱いについて指導及び教育を行っています。

■年間行事

| 日時 | 行事名 | 会場 |
|---|---|---|
| 4/1～5/31 | アトリエあかるいどう<br>・カラアート・ステンドグラス作品展示 | あかるいどう　1階アトリエ |
| 6/1～9/30 | アトリエあかるいどう<br>・日本文化アート作品展示 | あかるいどう　1階アトリエ |
| 7/2 | 環境フェスタ　作品展示・販売 | 岩見沢　赤レンガ |
| 9/7～9/9 | 第 54 回　全国知的障害福祉関係者職員　研究大会北海道大会　作品展示 | 札幌コンベンションセンター |
| 10/27～10/29 | みんなあーと展示部門　入選作品「ディズニーの殻アート」作品展示 | 札幌　かでる 2・7 |
| 11/1～1/31 | アトリエあかるいどう<br>・取り組みアート作品　作品展示 | あかるいどう　1階アトリエ |
| 11/7～11/13 | 障がい者週間アート展「ハート＆アート 2016」作品出展 | 岩見沢駅　2階 |
| 11/12～11/13 | 北海道アールブリュットフォーラムin岩見沢<br>作品展示・販売 | いわなび 1～2 階<br>商店街店舗「シーテラス」 |
| 2/1～5/31 | アトリエあかるいどう<br>・アートブリュット作品展示 | あかるいどう　1階アトリエ |

■諸会議

・法人全体会議・・・定例で月 1 回実施。

・事業班会議・・・・月一度の全体会議の他に事業所会議を月 1 回ペースで実施。全体会議であがった案件や事業所の議案について検討しました。

・個別支援計画策定会議・・・利用者さんの個別支援計画作成時にケースごとに実施。個別支援計画原案をもとに支援計画の支援内容等について検討しました。

・ケース会議・・・・日々の利用者さんの支援について検討を行ない、支援を実施しています。

■健康管理

7/15　全利用者さん、スタッフに対して健康診断を実施。

身体測定、血液検査、胸部 x 線、心電図、個人からのオプション検査。検査結果により、個人相談及び精密検査を勧めています。

月 1 回、利用者さんの体重測定を実施しています。医務日誌や連絡帳を通して、季節に応じた体調管理や体調変化など、親御さんと連絡を取り合っています。

■支援記録

事業所日誌や日々の支援記録を通して、記録の在り方や適正な記載の方法などを伝えています。１日の作業の内容や出来事だけではなく、どのような工程が出来るようになったか、どんなことへ興味を持って取り組んでいるかなども記載するよう指導しています。出来ない行動ばかりに注目するのではなく、色々な視点を変えながら支援し、記録へと繋げていけるよう指導しています。

■職員研修

行政や各福祉団体からの法の改正における制度の研修、利用者支援・権利擁護における研修、生産活動における研修等の外部研修に１５回延べ４名参加しています。
内部研修も不定期ではありましたが実施。職員研修では質問しにくい障がいについて基礎知識を含め、制度、記録方法などについても研修を行っています。

11 月 12～13 日に開催された、「北海道アールブリュットフォーラム in 岩見沢」作品展示様子

9 月 7～9 日に開催された、「第 54 回　全国知的障害福祉関係職員研究大会　北海道大会」の様子

■施設整備

・屋根・外壁修繕～材料仕入れを行い、スタッフの手で実施。
・アトリエ玄関スロープの整備～材料仕入れを行い、スタッフの手で実施。
・利用者玄関ドアの修理・トイレ配管修理～業者へ工事依頼。

■工賃支払い状況

□就労継続支援事業

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 10 | 11 | 11 | 10 | 10 | 10 |
| 総支給額 | 267,600 | 257,200 | 266,000 | 261,600 | 257,200 | 260,900 |
| 平均額 | 26,760 | 23,382 | 24,182 | 26,160 | 25,720 | 26,090 |

| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 | 10 | 123 |
| 総支給額 | 248,800 | 248,300 | 361,900 | 231,000 | 256,000 | 738,100 | 3,654,600 |
| 平均額 | 24,880 | 24,830 | 36,190 | 23,100 | 23,273 | 73,810 | **29,712** |

□生活介護事業

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 8 | 8 | 8 | 9 | 8 | 9 |
| 総支給額 | 102,000 | 92,400 | 93,900 | 90,900 | 87,400 | 88,800 |
| 平均額 | 12,750 | 11,550 | 11,738 | 10,100 | 10,925 | 9,867 |

| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 8 | 9 | 8 | 8 | 8 | 8 | 99 |
| 総支給額 | 94,300 | 93,100 | 191,700 | 82,000 | 96,300 | 212,000 | 1,324,800 |
| 平均額 | 11,788 | 10,344 | 23,963 | 10,250 | 12,038 | 26,500 | **13,382** |

**□事業所全体の平均工賃　¥　２２，４３０―（２１名）**

６．課題

昨年度から生産活動に力を入れ、工賃向上に向けた取り組みとして、惣菜製造を行なっています。しかし、製造と日々の業務に追われるあまり、定期的な商品入れ替えと開発、改善への展開が、速められていないのが現状でした。食品衛生管理と安全性に留意した環境を整え、顧客に合わせた惣菜展開を考え、少しでも売り上げを伸ばし、利用者さんの工賃向上へと繋げていけるよう取り組んでいきたいと考えています。

日中活動として、創作を進める上で、１点の作品を完成まで創り上げる時間や制作完成に至るまでの製品量の難しさを、より課題として感じています。販売に向けたアート製品の商品化や価格設定、種類等の様々な課題も多く、積極的な販売へ困難を極めています。多くの人へ芸術作品を知って頂く展示会を通して、利用者さんの作品をより多くの方達に観て頂ける様、活動内容を外部へ啓発する活動や周知へと取り組んでいけたらと考えています。

就労事業報告

■事業班名　にこにこ・さんさん

１．取組みの概要

日中の創作活動では、昨年に引き続き、１階アトリエに展示する作品制作にテーマを設け、３ヵ月毎の入れ替えへと取り組んでいます。アールブリュット制作や油絵、個人作品から共同制作など、１点ずつ心を込めて皆で取り組んでいます。また、今年度は利用者さんのアート制作を１つの製品にする試みを行ない、岩見沢イオンで行なわれた合同即売会やふらっと店舗でも販売する事が出来ています。また、昨年に引き続き、仲間の事業所から絵画の受注を頂く事が出来、製作、納品を行なっています。また、今年度初めて、利用者さんの絵画をデザインとして取り入れた、カレンダーや年賀状の製作、販売を行ない、より多くの方々へ利用者さん個々の作品を観て頂く機会が増えています。

アート作品

新冠の仲間の事業所へ納品した作品

きっちんどう店舗へレンタルした作品

利用者さんの絵を取り入れた、オリジナルカレンダー

ふらっとから受注を受けた、パンバッチとスマートフォンカバー

食品製造班にこにこでは、利用者さんの昼食製造と昨年同様、空知振興局 5 階にあるそらかぜ食堂へ納品する小鉢やハンバーグの製造を行なっています。

下請加工事業班さんさんでは、館内清掃と特別養護老人ホームこぶしの清掃委託、オーラルピース(歯磨き粉)やアートグッズの販売、そらかぜ食堂の販売業務委託、絵画レンタルと広告業務委託等、１年間取り組んでいます。

館内清掃では、昨年に引き続きアトリエや作業場の清掃、施設周りのごみ拾いなどを行なっています。こぶし清掃では、利用者さん達の頑張りが評価され、今年度から更新の契約をして頂いています。自動更新の契約をした事により、清掃メンバー１人ずつの意欲ともなり、自分の役割りや責任感を更に高めながら、日々作業に取り組む事が出来ています。

そらかぜ食堂の販売業務委託では、あかるいどうから 3 名の利用者さんが、販売と製造、接客へと携わっています。日々、時間に追われて忙しい中でも笑顔を絶やさず、接客や調理へと腕に磨きを上げ、自分の役割を 1 つずつこなし、責任を持って懸命に取り組まれています。

## 昼食・惣菜製造

事業所内の昼食・惣菜製造の様子

ハンバーグの袋詰めの様子

## 下請委託事業

そらかぜ食堂で働いている利用者さんの様子

老人福祉施設内の廊下清掃風景

整備環境と館内清掃風景

２．成果

活動（製造、創作活動、清掃）を通じて、就労意欲や芸術作品への意識の高まりや活動に参加する事で、自身の居場所や生きがいを感じ、社会的ルールや作業、活動への取り組みの姿勢を身に付けています。創作活動では、10 月下旬に行なわれた芸術祭のみんなアートや、11 月上旬に岩見沢駅構内で行なわれた「ハート&アート展」へと作品を出展しています。また、11 月に岩見沢市で今年度開催されたアールブリュットフォーラムでは、利用者さん 2 名の作品が展示され、高い評価も頂いています。作品は、巡回展にも参加させて頂き、道内数か所でも展示して頂く等、多くの方へ作品を観て頂ける機会となっています。昨年同様、他事業所から作品の依頼を受け、注文に応じた絵を製作し、納品を行なう事も出来ています。更に、親御さんから作品購入の声が上がり、絵画の販売を行なっています。

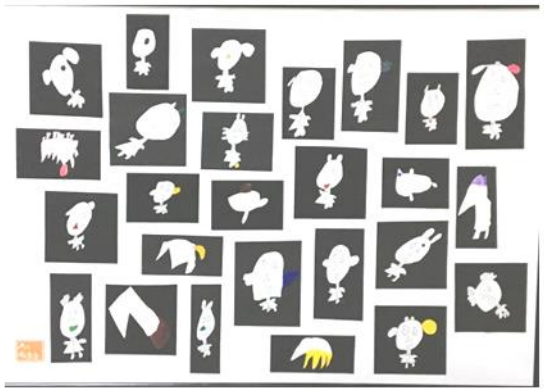
展示テーマ：日本文化アート

作品名　～桜～

作品名　～猫～

展示テーマ：取り組み展示

作品名　～車～



作品名　～シロクロ動物～

展示テーマ：アールブリュット

作品名　～動物園～

作品名　～養豚場～

作品名　～色いろいろ～

３．課題

利用者さんの固執や作業内容、ニーズに応じた個々の環境整備や治具の整備が、今後も更に増やしていく必要があると感じています。今年度は、絵画レンタル委託、販売、注文による製作や製造が多々ありました。来年度も制作した製品を継続して製造、販売、レンタルが進めて行える様取り組み、よりアートに従事した活動を広げ、啓発活動へと繋げて行きたいと思います。一人ひとりが楽しみや喜びを持ち、活動を通して生きがいを感じられる様、充実した支援を行なって行きたいと考えています。

４．データ

下請加工事業（業務委託）
利用者実人数：9 名
生産活動売上：2,323,900 円
工賃還元額　：2,323,900 円

製造販売事業・下請加工事業（にこにこ・さんさん）
利用者実人数：12 名
生産活動売上：5,150,635 円
工賃還元額　：2,657,000 円

平成２８年度　歩~夢　事業報告

１．２８年度事業の総括

平成２８年度の運営については、２９年度の開設の新規ホーム開設に向けて、消防法、建築基準法等の各種法令基準を満たすように準備を進めることができました。

今年度、高等養護学校の宿泊体験の希望は、例年と比べあまり多くはありませんでしたが、企業就労されている方や日中事業を利用されている方が、将来のことを考え宿泊体験事業を活用されていました。

また、行政機関や相談事業所からも緊急的な受け入れ要請も含めて宿泊体験の利用希望が多く、支援体制上の理由によりすべてのニーズにお応えすることは難しかったのですが、状況を確認しながら対応のできる範囲で受け入れを行なっています。

利用状況については、新規利用者が３名入居され、、他法人のグループホームに移った為１名が退所されました。

支援の面では、誕生日の方の外出の他に、個々の希望を聞き取り、できる限り希望に応えられるよう外出や外食等を企画しました。長期の休みについては、旅行などのイベントを企画し、にぎやかに行ないました。新しい取り組みとしては、ティーボールのチームを結成し、月２回教育大学の学生さんと一緒に練習を行なっています。１１月の札幌ドームでの大会には参加することができ、初戦ながら一回戦目は勝ち上がることができました。現在は、新メンバーも加わり２９年度の大会に向けてがんばっているところです。

今年度も余暇活動の充実と、一人一人個別の暮らしの質の向上に努め、人権擁護や虐待防止に一層取り組み、日中活動との連携を重視して事業を行ないたいと思います。

２．実施事業

共同生活介護一体型事業所（合計定員３７名）※宿泊体験４名含む

| | | | |
|---|---|---|---|
| 春が来た荘 | 定員５名 | 現員４名 | （宿泊体験　１名） |
| 夏色荘 | 定員５名 | 現員５名 | |
| 秋いろいろ荘 | 定員５名 | 現員３名 | （宿泊体験　１名） |
| 冬暖か荘 | 定員５名 | 現員３名 | （宿泊体験　１名） |
| いなほが実り荘 | 定員５名 | 現員４名 | |
| ハラダハイツ | 定員２名 | 現員２名 | |
| コーポハラダ | 定員２名 | 現員２名 | |
| 桜なごみ荘 | 定員４名 | 現員４名 | |
| もみじ色づき荘 | 定員５名 | 現員４名 | （宿泊体験　１名） |

春が来た荘

夏色荘

秋いろいろ荘

冬暖荘

ハラダハイツ

コーポハラダ

いなほが実り荘

桜なごみ荘

もみじ色づき荘

ふきのとう

３．平成２８年度の利用状況

※定員３７名（宿泊体験４名：４月~３月）※うるう年のため年間３６６日

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 36 | 38 | 37 | 42 | 42 | 42 | 40 | 37 | 38 | 42 | 38 | 40 | |
| 開所日数 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 29 | 31 | 366 |
| 延利用回数 | 898 | 938 | 947 | 978 | 938 | 938 | 948 | 966 | 1,000 | 974 | 940 | 1,013 | 11,478 |

※平均実利用者数　３１．４名（小数点第２位以下切り上げ）

※平成２８年４月から３月までに男性３名入居

　平成２８年９月末で桜なごみ荘の男性１名退所

前年にも増して、長期の帰省をされる方が少なくなって来ています。ご家庭との連携を念頭において、今後も一層余暇時間の充実など生活支援の重要性が増してくるものと思われます。

※宿泊体験

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 5 | 6 | 5 | 10 | 10 | 11 | 7 | 4 | 5 | 9 | 5 | 7 | |
| 開所日数 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 29 | 31 | 366 |
| 延利用回数 | 17 | 18 | 21 | 35 | 45 | 53 | 27 | 14 | 19 | 20 | 19 | 13 | 301 |

昨年度に引き続き利用数が増加してきたことが挙げられます。利用の理由として、企業に通所する際の交通の便や、通いやすさなどがあり、宿泊体験を経て正式な入居に切り替わった方もいました。

その他には、ご家族や学校がご本人の将来を考えた宿泊体験の相談が多かったように感じられました。今年度は、空き部屋が限られていることから、対応できるニーズに限りがある為、すべての相談ケースに応えることは難しかったが、２９年度には、少しでもニーズにお応えできるよう居室の確保については、検討したいと思います。

４．取組みの概要

■利用者支援

昨年度に続き、南町のエリアと市内中心部を拠点とした支援を行なっています。職員の動きも互いに連絡を取り調整を行う事で効率よく支援ができるように工夫をし、少しずつ生活環境を整えることができました。昨年同様に、障がいのある方だけで生活をしている

ことが不安だと感じている地域の方もいますが、日々の挨拶や、冬場の除雪環境等で地域貢献を行ないながら、少しずつではありますが、理解をいただけたのではと感じました。継続して地域社会の一員として役割を行えるように取り組みます。

■権利擁護

前年に引き続き、世話人を含むすべての歩～夢スタッフを対象に、権利擁護や虐待防止についての内部研修を複数回実施しました。また、研修に参加した職員にからも伝達研修と称し振り返り考えていけるよう専門家としての知識や意識の向上に努めています。

定例の会議内で、ニュースなどで報じられた虐待の事例、福祉制度の情報などを施設長より話され、パートの世話人に至るまで一定の学習の機会を持てたと思います。

■苦情解決委員会

今年度の苦情件数は１件、要望が２件となっています。苦情については、親御さんへの配布物に関する内容について上がり、担当者との話し合いを行ない対応策を考え、ご報告させていただいています。また２件の要望内容としては、現在企業就労で活躍されている方からで、将来へ向けたステップアップの為に、転職をしたいというものと、意に沿わない職員を異動させてほしいという内容でした。いずれもご本人への面談を行ない、丁寧に聞き取り、対応を行っています。

■感染症対策

感染症対策としては、今年度もインフルエンザの予防接種を行ないましたが、インフルエンザを発症した方は居ませんでした。てんかんの持病がある方もいた為、親御さんと確認をしながら対応を行なっています。

うがい、手洗いの声掛けや予防接種、加湿・換気などの対策のおかげか、グループホーム内で大きく流行することはありませんでした。今後も継続して行ない、食中毒やその他の衛生面についても対策を講じていきたいと思います。

■災害対応・事故対応

８月２０日に、大雨が降り南町のＧＨ付近の川の水かさが増した為、数年前の洪水を教訓に早期の自主避難を行ないました。この日は、土曜日ということもあり作業参加されていた方や、作業後帰省の方もいましたが、一度、法人本部に集合し、親御さんへの連絡や外出をされていた方も含め随時対応を行ないながら状況を確認したのちグループホームに帰宅しました。

大雨による付近の河川の増水と、雨脚が落ち着くまで一時自主避難を行なった。

今年度の避難訓練については火災想定や地震災害にも目を向け、家の中の危険なもの、家具等の固定や避難をするタイミングなど課題を確認しながら行ないました。また、防災センターにも行き実際の地震の揺れや、煙の中を歩く体験も行いました。

消火器訓練では、消防立ち合いではなく、自主設置をしている消火器スプレーを使用しながら、実際の威力やどれくらいの使用時間なのかも体験してみました。

消火スプレー体験

防災センターで地震体験

事故対応については、大きなものはありませんでしたが、利用者さんが企業に通勤する際、路面で滑って転び瞼を裂傷し通院を行なっています。通勤中の事ということで労災として処理しますと企業側から連絡が入り対応をしています。振興局には、事故報告書を提出させていただきました。

■年間行事

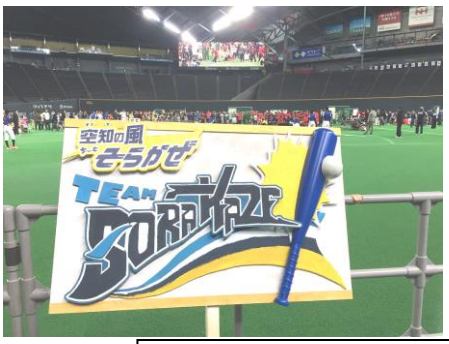
| 平成 28 年度 | 内　容 |
|---|---|
| 4 月 16 日 | 誕生会（各月行っている） |
| 4 月 24 日 | 宮島沼～ねぐら立ち |
| 4 月 29 日 | 札幌市民防災センター |
| 5 月 1 日 | 千歳アウトレットモールレラ |
| 5 月 4 日 | GW バーベキュー |
| 7 月 2 日 | ほほえみ工房祭 |
| 7 月 10 日 | 避難訓練 |
| 7 月 16 日 | わいわいないえ祭り |
| 7 月 18 日 | 新日本プロレス観戦外出 |
| 8 月 5 日 | 空知のチカラ |

| | |
|---|---|
| 8 月 7 日 | 自衛隊お祭り |
| 8 月 10～11 日 | お盆キャンプ |
| 8 月 13 日 | 西町町内会子供盆踊り |
| 9 月 18 日 | 百餅祭り |
| 9 月 22 日 | 秋のバベーキュー・還暦のお祝い |
| 9 月 24 日 | 南幌学園祭 |
| 9 月 25 日 | 雪の聖母園祭 |
| 10 月 9 日 | 樽前山　登山 |
| 10 月 20 日 | クラシックコンサート外出 |
| 11 月 3 日 | 避難訓練 |
| 11 月 6 日 | ティーボール大会 |
| 12 月 16 日 | 歩～夢忘年会 |
| 1 月 1 日 | 初詣外出 |
| 1 月 3 日 | 札幌外出・初売り |
| 1 月 29 日 | 札幌外出・買い物 |
| 2 月 11 日 | 札幌雪まつり外出 |

２８年度の余暇活動としては、１１月 ６ 日に「ティーボール北の甲子園」が札幌ドームにて開催され選手として出場してきました。

１年間の練習の成果を十分に発揮し、初の大会参加ではありましたが、多くの方の応援をいただき、一勝をすることはできました。

また、応援大賞を受賞することもでき、メンバーも来年の大会に向けて気持ちを切り替え日々の練習に励んでいます。



第 22 回　「赤い羽根」ティーボール北の甲子園国際交流大会

宮島沼で　まがんのねぐら立ちの立ち合い

プロレス観戦

歌志内　かもい岳ビレッジオートキャンプ

自衛隊祭り

樽前山　登山

岩見沢市百餅まつり

札幌ゆきまつり

今年度は、様々なことに挑戦しました。朝早くに起きて、渡り鳥のねぐら立ちを見たり初めての登山も体験しました。登山は強風だった為、山頂に行くことはできませんでしたが、また行きたいと希望もあり２９年度も挑戦したいと考えています。

一人一人の希望をかなえることにはまだまだ難しさを感じますが、少しずつ余暇の充実を図りたいと考えています。

■諸会議

・法　人　全　体　会　議・・定例で月１回実施。
・事　業　所　会　議・・全体会議のほかに月１回実施。主に常勤の生活支援員を中心に、各利用者さんの支援上の課題や、設備、運営の仕方などの協議を行ないました。
・世　話　人　会　議・・月１回実施。世話人を中心に、法人全体会議や事業所会議での決定事項の周知や、個別に抱える課題の共有、宿泊体験や特に注意が必要なケースについての話し合いを行ない、支援がブラインドにならないように努めました。
・個別支援計画策定会議・・個別支援計画作成時に１ケースごとに実施。計画原案をもとに支援内容等について検討しました。
・ケ　ー　ス　会　議・・日々の利用者支援について検討を行ない、支援を実施しています。
・企業就労担当会議・・現在企業就労されている方の定着支援について情報を共有し、支援の方向性について話し合いを行なっています。
・給　　食　　会　　議・・各事業所担当者で翌月の献立について調整をしています。
・権利擁護担当者会議・・・各事業所の苦情解決受け付け担当者と月１回苦情内容や権利擁護についての打ち合わせや確認事項を話し合っています。

■健康管理

定例の健康診断を実施しています。再検査が必要な方などのデータを嘱託医に診て頂き、相談をさせてもらいました。昨年度に続き、体重増加や血圧が高めで再検査を行なった方が多く、毎日血圧を測り日々の状態を確認し対応をしています。また、検査結果によっては、専門の病院に通院し必要な検査を行なっていきます。

結果としては、大きな病気の方は居ませんでしたが、徐々に高齢期に向かわれている方も多くなってきたため、健康維持への取り組みや検査内容を変更していくなどして、年齢や体調に合った検査を考えていく必要があると思いました。

■支援記録

今年度は、健康診断などの結果から健康面に関する記載が増えたことや、全体日誌の記録や引継ぎが一層重要な支援情報であることを再確認しました。記載内容をエリアごとに分けたことで、確実に記録が残せ、情報共有がより確実になるように作成を行ないました。

また、日中活動との連携の為、連絡帳を用いて生活の様子や体調の変化などについて記載をしています。世話人も時間を取り連絡帳を読むことで、日中活動の様子を把握することができ、会話の幅も広がることができました。

ご家庭とのやり取りについては、通常の連絡等の他、家庭用の連絡帳を用いて確認事項や、日々の様子について全員とまでは言えませんがご連絡をさせていただいています。

また、歩～夢担当者携帯や夜勤携帯の番号の周知をお伝えすることで、家族の方からの連絡も多くなり以前に比べても連絡のやり取りが多くなったように思います。

■職員研修

内部研修については、定例の世話人会議の中で、主に権利擁護や障がいについて、アンガーマネージメントを中心に研修を行ないました。

その他は法人の研修計画に基づき研修参加を進めています。

| 参加した主な外部研修 | 内容 |
|---|---|
| 日本グループホーム学会 | 地域特性をいかしたグループホームの作り方 |
| 保健医療部会宿泊研修会 | 脳とは何か、心とは何かを考える |
| 権利擁護セミナー | 行動障害の理解と予防 |
| 衛生推進者養成講習 | 衛生推進者の役割と職務 |
| 地域スタッフ研修会 | アンガーマネジメントについて |
| ふらっっと研修会 | アンガーマネジメントについて |
| 就労系事業の「虐待リスク」 | 意志決定支援 |
| 小型車両系建設機械運転特別教育 | 小型車両系建設機械運転特別教育 |
| 精神疾患で問題行動をおこす事例 | 精神疾患で問題行動をおこす事例の対応について考える学習会 |
| 空福協第三者意見交換会 | 利用者虐待について |

■施設整備状況

防犯対策を行なっています。各グループホームの１階の窓に防犯フィルムを貼り窓からの侵入を防げるよう整備しています。また、夜勤者が滞在する住居には侵入者を撃退するための防犯用スプレーを整備しました。

平成２８年度　地域生活支援事業　楽らく　事業報告

１．２８年度事業の総括

岩見沢市より指定を受けて実施している日中一時支援事業楽らくは、美唄市、三笠市、栗山町と委託契約をし、様々な余暇活動を実施しました。

２．実施事業

□日中一時支援事業　　定員１５名（岩見沢市以外の定員は契約内容に基づく）

３．平成２８年度の利用状況

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 28 | 32 | 21 | 32 | 28 | 29 | 29 | 24 | 19 | 26 | 29 | 28 | |
| 延利用回数 | 89 | 88 | 75 | 99 | 71 | 79 | 94 | 73 | 58 | 89 | 87 | 100 | 1,002 |

土曜午後の時間を活用した余暇支援を年間５０回実施しました。

４．取組みの概要

昨年度から引き続き、外部講師をお招きしてのメイクアップ教室を開催し、洗顔やメイクの基礎を学ぶ良い機会となりました。華やかにメイクをしたお互いの顔を見合って嬉しそうな様子が印象的でした。また、今年度発足したダンスチームの練習の時間も楽らくの枠組みを活用して実現しました。作業終了後の１時間をダンス練習の時間に充て、皆さん汗を流しています。

５．成果

外部の講師をお招きするメニューは、その道のプロからの技術が提供されるため、利用者さんだけではなく、スタッフも大いに勉強になりました。また、これまでの土曜日の余暇メニューの実施にとらわれない平日夕刻の活動にチャレンジしました。これまでのダンスの取組みが通年行なえることが目標となっています。利用者さんの「やりたい事」を一つ形に出来るチャンスではないかと考えています。

時にはスポーツ

ある時は美容を

ダンスチーム練習。楽しみはより多く。

６．課題

参加人数の多いメニューの時には３０名を超える場合もあり、余暇メニューの企画には皆様に楽しんで頂ける様な個別の配慮や工夫がこれからも必要です。一人ひとりに楽しめるメニュー実施のため、検討を重ねていきます。

## 平成２８年度　地域生活支援事業　そらなび　事業報告

１．２８年度事業の総括

空知の風の他、他法人を利用されている方の計画相談も行ないました。 福祉サービスの支給決定を受けるために必要なサービス等利用計画の作成を担当しています。

２．実施事業

□指定特定相談事業

３．平成２８年度の利用状況

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 件数 | 8 | 1 | 0 | 5 | 1 | 6 | 4 | 2 | 3 | 2 | 3 | 11 | 46 |

空知の風の利用者さんの相談を段階的に第三者の事業所に移管し、併行して他法人の計画作成を担当することとなっており、昨年度と比べ作成数は横ばいとなっています。

４．取組みの概要

中立な立場での計画相談を実施するため、段階的に計画作成の担当を第三者の事業所に移管しています。同様の理由から、他法人の計画作成を空知の風で担当する機会も増えています。

５．成果

他法人の相談事業所が利用者さんのお話を聞くことは、毎日顔を合わせないからこそ、日々思っている事を自由に話せる機会になっているようです。ご本人の様々な思いを意思表示しやすい、風通しのよい環境の一助となるのではないかと思われます。

６．課題

他法人の相談ケースが増加したことで、相談員の外出の機会が増えました。相談員は１名体制ですので、スケジュールの調整には十分余裕をもって進める必要があります。